

令和元年度
日野市中央公民館の
運営の状況に関する評価書
(平成 30 年度事業)

市民による市民のための公民館
～地域に生きる市民の底力～

令和元年 9 月
日野市中央公民館

目 次

1. はじめに	1
2. 評価の目的	1
3. 公民館の現状	1
(1) 施設	1
(2) 貸室利用事業（平成 30 年度）	1
(3) 組織・職員	2
(4) 主な業務	2
4. 評価の実施方法	2
5. 評価の対象	2
6. 評価の結果	3
公民館運営審議会の総評	3
公民館の自己評価	4
7. 評価表	6

資料

I 公民館事業のあらまし	1 9
II 日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱	5 3
III 公民館運営審議会委員名簿（第 27 期）	5 4

1. はじめに

平成 20 年 6 月に「社会教育法」が改正され、運営の状況に関する評価等として、「公民館は、当該公民館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき公民館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。」とされました。また、これに先駆けて平成 15 年には、公民館の設置及び運営に関する基準において「公民館は、事業の水準の向上を図り、当該公民館の目的を達成するため、各年度の事業の状況について、公民館運営審議会等の協力を得つつ、自ら点検及び評価を行い、その結果を地域住民に対して公表するよう努めるものとする。」とされてきたところです。

これらを受け、公民館では平成 21 年 3 月 31 日に、「日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成 21 年度から公民館の運営状況に関する評価を実施することにしました。

2. 評価の目的

この評価は、公民館の運営の状況に関する情報を積極的に提供することにより、市民・利用者やその他の関係者との理解を深めるとともに、連携及び協力の推進に資するため、そして、効果的で市民・利用者に信頼される公民館事業を推進することを目的に行います。

この目的遂行のため、公民館は毎年 1 回、運営状況について評価を行い、その評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出するとともに、市民に公表することとします。

そして、評価結果に基づき公民館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めていきます。

3. 公民館の現状

(1) 施設

名 称	延べ床面積	開 館 日	所 在 地
中央公民館	704 m ²	昭和 41. 7. 1	日野本町 7-5-23
中央公民館高幡台分室	953 m ²	平成 16. 4. 21	程久保 550 教育センター内

(2) 貸室利用状況（平成 30 年度）

名 称	部屋の名称	年間利用者数
中央公民館	実習室、ホール、視聴覚室、小会議室、講座室 A・B、調理実習室、保育室	41, 251 人
中央公民館高幡台分室	講座室 1～6、実習室、和室	28, 477 人

- (3) 組織・職員 ※平成 31 年 3 月 31 日現在
- 2 係（管理係・事業係）
 - 正規職員 6 人
 - 再任用職員 1 人
 - 臨時職員 3 人
 - 嘱託職員（コミュニティワーカー） 1 人

(4) 主な業務

- ・ 公民館運営全般
- ・ 公民館活動（成人・高齢者・青少年対象の講座等）の企画運営
- ・ 公民館関係資料の収集、保存及び作成
- ・ 公民館施設の貸し出し管理等

4. 評価の実施方法

評価を行うにあたっては、社会教育法で設置が謳われている公民館長の諮問機関である第 27 期公民館運営審議会委員（資料Ⅲ参照）の意見を伺いながら行いました。本評価は施策評価であるため、事業別の評価資料を作成した上で、それに基づき公民館運営審議会委員に課題・問題点と評価の提起をいただき、評価を総括いたしました。

5. 評価の対象

評価の対象は、「平成 30 年度中央公民館基本方針」にある基本施策 10 項目及び重点施策 4 項目を対象といたしました。

1 基本方針

公民館を日野市民にとって自由で民主的な学びの場として機能させるために諸条件の整備・充実をすすめる。

市民がまなびの主体であると同時に、まなびを作り広げる主体として、公民館事業に生き生きと参加・参画できるように、各種事業を企画・運営し、情報提供や相談業務などの充実を目指す。

2 基本施策

- (1) 市民が楽しく学び、集って生きることの素晴らしさを実感できるような事業の展開を図る。
- (2) 誰もがともに生き学びあう機会を保障し、相互理解の推進に努める。
- (3) 心身共に健やかに生きることの素晴らしさを理解できるような事業の展開を図る。

- (4) 自然と人間との共生・人間相互の共生をはかるような事業を展開する。
- (5) 安心できる日野市・安全な社会を目ざした事業を展開する。
- (6) 日野市をふる里として生きていけるような、地域の伝統と文化の理解を深める事業を展開する。
- (7) 市民が日野市に新しい文化を育むような事業を展開する。
- (8) 憲法や平和・民主主義を地域にいかせるような事業の展開を図る。
- (9) 地域社会を活性化させる担い手となるリーダーの育成を推進するような事業を展開する。
- (10) 地域や日野市民の生活に根ざした諸問題を取り上げた事業を展開する。

3 重点施策

- (1) 地域に根付いた学習活動の充実
 - ・地域偏在の解消と地域の特色を活かした公民館事業の検討
- (2) 子ども、若者を対象とした事業の拡充
 - ・学びや体験の機会の提供
 - ・大学連携による学びの場の創造
- (3) 談話室を活かした情報発信のしくみづくり
 - ・新しいことが生まれるみんなの居場所
 - ・「人と人を結ぶもう一つの学び舎」をコンセプトに、高幡台分室の環境整備
- (4) 第2次公民館基本構想・基本計画策定に向けて

6. 評価の結果

《公民館運営審議会からの総評》

全体として、事業の目的、内容、成果の分析等が行われており、今後の公民館の持続可能性を考えるうえでも「次世代につなげていく」学びを視点にした事業の展開が図られている。基本施策10項目及び重点事業4項目についての公民館運営審議会からの意見は、各「評価表」にまとめている。

平成30年度の中央公民館の重点施策については

- ①子ども、若者世代の参加を促し、大学との連携をさらに図ること
- ②居場所事業として取り組んでいる談話室の活用や、「子ども将棋・囲碁サロン」、「ぱそこんくらぶ IN 高幡台分室」などを継続して実施すること
- ③地域の特色を踏まえ、地域に出向いて公民館事業を展開する「学びモデル事業」の実績を重ねること

それぞれの施策が、年間を通じて、ひとつひとつ着実に行われていることを評価したい。特に、大学と公民館の連携事業が広がっていること、職員が積極

的にアプローチに努めたことで、「若者を公民館へ」の風が公民館全体に共有されていると感じる。

また、年間をとおして実施された帝京大学教育学部との連携事業により、学生たちと関わりながらいっしょに公民館について考え、新たな学びの場を創ることができたことは、大きな成果となり、今後の公民館の未来を拓いたのではないか。学修成果集として編集された「ようこそ！地域のリビングへ～公民館へのあなたの一步」（冊子）については、若者の価値観や学生の視点に基づく刺激的な発想を生かし、これからの公民館を市民といっしょに考えていくきっかけとなることを期待する。

さらに、平成 30 年度には「公民館における利用者交流のあり方について」の諮問を公民館長から受け、審議会にて議論、意見をまとめ、答申した。これからの公民館のあり方を考える上で、「若い世代の価値観」や「未利用者のニーズ」などの現状把握が必要となることを問題提起している。

これからの公民館に求められる「ゆるやかな」「開かれた」交流の場としての公民館をどのようにつくっていくのか。公民館利用者とともに公民館について考える講座「話し合おう！考えよう！これからの公民館を」を開催し、利用者と職員とがいっしょに公民館について考える、新たな学びのかたちを生み出すきっかけとなった。

公民館が現在を生きる人々にとってはもちろん、未来の市民のためにも意義ある施設であり続けるために、地域へのアプローチ、他機関との新たな連携が、今後もより重要である。

公民館活動を通して、「学ぶ」主体が、他者と「つながり」、さらに社会の中で「行動する」学びの循環を、未来へ引き継いでいくことを期待する。

《公民館の自己評価》

平成 30 年度中央公民館事業は、基本施策 10 項目及び重点施策 4 項目を踏まえ、事業数として 101 事業を展開した。平成 30 年度における公民館主催事業の参加人数は延べ 22,875 人、中央公民館施設利用者数延べ 41,251 人、高幡台分室施設利用者延べ 28,477 人となり、年間で延べ 92,603 人が公民館事業に関わったという結果となった。事業数、延べ人数ともに、昨年度を上回る実績数値となった。

平成 30 年度の公民館運営の方針として「**地域がステージ 新しい学び**」をコンセプトに事業を組み立て、公民館の目指す方向性を職員間で共有しながら事業展開を図った。特に重点施策となる事例についてである。

① 学びモデル事業について

従来から公民館が行ってきている定例的な事業に加え、市内各地域の特性と課題を踏まえた事業を公民館から地域に発信し展開、新しい学びの場として「学びモデル事業」に取り組んだ。事業成果としては、地域ニーズを踏まえたモデル事業を 1 地区（日野第二中学校エリア）で実施した。地域包括支

援センターや実践女子大学などの協力のもと、地域の方の声をリサーチするサロンの場をつくることから始め、事業の企画運営を行った。学びモデル事業は、今まで公民館を利用したことのない市民へのアプローチにつながることができた。この先行事例の成果を踏まえ、学びモデル事業の手法をマニュアル化し、職員間で共有し合い、今後、継続して他のエリアでの展開につなげていく。【評価表 重点施策（１）P16 参照】

② ゆるやかにつながる空間の創出～居場所事業の取り組み

中央公民館の談話室を活用した「ゆる・カフェ・時間」、「子ども将棋サロン」の取り組みや、高幡台分室で実施している「ぼそこんくらぶ I N 高幡台分室」や、「子ども囲碁サロン」の取り組みは、継続することで公民館利用者からの認知度は確実に高まったといえる。今後はさらに新たな利用者への広がりも考えていかななくてはならない。また、平成 30 年 9 月に「公民館の利用者交流のあり方について」を公民館運営審議会へ諮問し、平成 31 年 3 月に答申を受けている。これからの公民館運営について、答申から課題を吸い上げ、公民館利用者だけでなく未利用者へも発信することで、日野市の公民館の価値を高めていくことが必要だと考える。

※「公民館の利用者交流のあり方について」についての具体的な 3 つの方針

（答申）から抜粋

1. ゆるやかにつながる機会と場所の拡充
2. つながることで学びが深まる仕組みの整備
3. 未利用者とのつながりを生み出す環境の整備

③ 大学連携の充実

「若者を公民館へ」継続して取り組んでいる大学連携事業は、さらに広がり、深まっていることは大きな成果である。特に、2 年目となった帝京大学丹間ゼミにより公民館を学習活動の拠点とし研究成果としてまとめた「ようこそ！地域のリビングへ～公民館へのあなたの一步」の冊子は、利用者だけでなく市内へも発信し、成果として評価をいただくことができた。日野市の公民館をフィールドとして学生と利用者が出会う機会の創出があり、公民館から生まれた「学び」で「人」がつながり、新しい公民館運営に向けた未来像をよりはっきりと描くことができた。今後も、連携をさらに広げ、深め、継続していきたいと考えている。【評価表 重点施策（２）P17 参照】

公民館運営の全体を可視化し、共有することで、事業の目的を明確にし、基本施策や重点施策に加え、公民館運営方針のコンセプトを踏まえ、様々な切り口から多様な学びの場を展開することができた。

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(1) 市民が楽しく学び、集って生きることの素晴らしさを 実感できるような事業の展開を図る。		
事業の概要		経費	【謝礼】 1,569,200円
【目的】 すべての人が学ぶことの楽しさ、集うことのすばらしさを実感できる事業を展開することを目的とする。		延べ参加人数	4,582人
【30年度に実施した講座・事業】 「楽しい陶芸入門コース」「英語でおもてなし」「季節を楽しむ和の伝統行事」「アートランタンをつくろう」「土曜の朝はパン作り」「本づくりで考えたこと」「ファイト！グラウンド・ゴルフ入門」等のほか、映画会、「ゆる・カフェ・時間」などの居場所事業まで、計50事業を実施した。			
【内訳】 成人事業13、高齢者事業8、青少年事業11、ひの市民大学11、映画会6			
事業の成果	例年同様、幅広いジャンルの講座を企画・実施し、昨年度の事業数を上回った。 小・中学生から高齢者まで年齢層を対象に、さまざまな方の参加を期待して講座を実施したが、特に小・中学生を対象としたプログラミング講座や、親子で桜もちづくりを楽しむ講座など、新たなテーマを取り入れた試みなども行った。また、中央公民館談話室の「ゆる・カフェ・時間」、高幡台分室の「ばそこんくらぶIN高幡台分室」などの居場所事業も定着してきたといえる。日程・時間帯・会場を含めた見直しが必要な点もあるかと思われるが、市民が学び合う場としておおむねバランスよく実施できた。		
公民館運営審議会の意見	○講座会場の地域的な偏りをもっと平準化すべきである。 ○同じ講座を対象年齢や開催場所を変えるなどして、新たなニーズにも応えてほしい。 ○ゼミ方式、アクティブ・ラーニング方式等新たな学びの手法を取り入れるなどの工夫を。 ○小・中学生にとって学校や学年の枠にとらわれない体験ができることは、大人になってからの学ぶ姿勢にも役立つ ○「ゆる・カフェ・時間」など居場所事業として交流の場や機会を作る目的で続けられている点は評価できる。		
事業の課題と改善策	講座は幅広いジャンルにわたって開催できたことや、「ゆる・カフェ・時間」などの「居場所事業」も定着しつつあるが、夜間の講座開催、開催会場の偏在などはまだ対応が十分とは言えない。新たな利用者層を広げるためにも、講座、事業の運営やテーマなどを工夫し、新たなニーズに応えていくことが大切である。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(2) 誰もがともに生き学ぶあう機会を保障し、 相互理解の推進に努める。		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 4,709,000円
【目的】 多文化共生、障害者と健常者の交流、世代間交流、男女平等参画社会の推進を図ることができることを目的とする。 【30年度に実施した講座・事業】 「国際理解講座」「L G B T入門講座」「おんがくでおでかけ！」など7講座と「青年・成人学級」「少年学級」「外国人のための日本語教室」の3つの委託事業を実施した。 【内訳】 成人事業6、委託事業3		延べ参加人数	5,799人
事業の成果			
委託事業の「青年学級・成人学級」「少年学級」は、障害を持つ人と持たない人との学び合いの場として定着しているが、若い世代の新たな参加者を広げるための仕組みは、今後も検討すべき課題である。同じく委託事業の「外国人のための日本語教室」は、市内に暮らす外国人にとって大切な学習機会であるとともに、相互理解につながる場として定着している。国際理解、障害者理解の講座、LGBTをテーマにした講座、世代間交流事業も、昨年に続き開催した。これらの講座は今後も継続して実施していくことが必要と思われるが、さらにPRなどを工夫し、新たな参加を広げたいところである。			
公民館運営審議会の意見			
○障がい者、外国人、市民合同の交流講座があってもよいのでは。 ○高幡台分室での世代間交流事業はよかったが、もっと回数も増やすなどを考えてほしい。 ○社会問題として「中高年のひきこもり」についても講座のテーマに取り上げるべきでは。 ○LGBT入門講座などは引き続き開催すべきと考えるが、PRなどにもっと工夫は必要と考える。 ○障がい者理解講座で中学校ボランティア部等との連携ができたことは、共生社会の実現に向けて重要な成果である。			
事業の課題と改善策			
「障害の有無」「国籍」「性別」など、さまざまな視点からお互いの立場を尊重し、相互理解を図る事業展開をすすめていきたいが、そのためには市外も含めたさまざまな団体や当事者とも連携を図り、学びを深める展開が求められる。PRにおいても、SNSなどを有効に活用し、もっと講座・事業への参加の敷居を低くしていきたい。			

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(3) 心身共に健やかに生きることの素晴らしさを 理解できるような事業の展開を図る。		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 367,000円
【目的】 健康志向の高まりの気運を受け、食育、運動など心身の両面で健やかに生きる上で役立つ事業を展開することを目的にする。		参加延 べ人数	423人
【30年度に実施した講座・事業】 「よりよく生きる～マインドフルネス入門講座」「体が軽くなる 腰痛・肩こりストレッチ」など6講座と委託事業「ひのっ子シェフコンテスト」を実施した。			
【内訳】成人事業4、高齢者事業1、青少年事業1、委託事業1			
事業の成果			
「健やかに生きること」という視点から、マインドフルネスやアドラー心理学などさまざまなテーマの講座を実施した。また、「今よりもっときれいになろう～プロに聞く美学講座」などこれまでになかったテーマの講座にも取り組んだ。今回12回目となった「ひのっ子シェフコンテスト」は、小学生が食育について考える場として定着し、昨年を大きく上回る応募があった。優秀なメニューが実際に学校給食に登場することなどもあって事業の周知も広がってきたといえる。			
公民館運営審議会の意見			
○高齢者が健やかに生きるための健康講座がもっとあってもよいのでは。 ○「心身ともに健やかに」を「つながり」の視点を持ちつつ、事業展開して欲しい。 ○現役世代が健やかに生きることが基本だと思うので、若い世代を集めるための工夫をもっとすべき。 ○健康寿命の延伸や介護予防が叫ばれる中、福祉部局との連携事業にも期待したい。 ○小・中学生対象の「食育」講座として定着してきた「ひのっ子シェフコンテスト」は参加者も増えており、評価するが、その後のフォローを考えていけないか。			
事業の課題と改善策			
「心身ともに健やかに生きる」というテーマの講座・事業は、幅広い年齢を対象に実施しているが、世代ごとに関心の対象に違いもある。現役世代や若い世代を意識したテーマの講座も企画しているが、開催時間、会場等が十分に配慮されているとはいえないものもある。参加者の立場に立った条件整備が必要である。			

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(4) 自然と人間との共生・人間相互の共生を はかるような事業を展開する。		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 309,000円
【目的】 循環型社会、持続可能な社会の形成を意図した事業を展開することを目的とする。		延べ参加人数	515人
【30年度に実施した講座・事業】 「親子で大豆から豆腐を作ろう」「黒豆で作るプレミアム味噌作り」などのほか、昨年に引き続いてのシリーズ「あなたの知らない多摩動物公園」、マイ食器・マイ箸を作る「今日からキミもひのエコだ!」など8講座と委託事業「田んぼの学校」を実施した。			
【内訳】成人事業1、青少年事業1、ひの市民大学6、委託事業1			
事業の成果			
自然と人間との共生を考える機会として、豆腐、味噌作り、エコ食器作りから、マイクロプラスチックによる海洋汚染を考える事業まで、さまざまな講座を展開した。 委託事業の「田んぼの学校」は今年度、開催会場が新町のみとなったことで、参加者数を大きく減らす形となったが、参加者のリピート率が高い事業である。さらに、南平会場のが望まれるところである。			
公民館運営審議会の意見			
○「田んぼの学校」における米づくり体験は、参加者のリピート率も高く評価できる内容だが、会場ごとの課題も把握して今後につなげていくことが大切。 ○伝統食に着目した「味噌作り講座」は継続すべきである。 ○学校の授業でも取り上げられる内容なので、学校等との連携を図るとよい。 ○「多摩動物公園シリーズ」は人気も高く、評価できる企画である。 ○これらの講座では、子どもや親の満足度とともに、参加した親のニーズや、講座前後での子育て観の変化などについても把握できるとよい。			
事業の課題と改善策			
「田んぼの学校」をはじめ地域の自然に親しむプログラムから、伝統食、エコへの配慮など・・・子どもから大人までさまざまな角度から自然との共生を学べる機会となっている。今後もこうした水準を維持するためには地域の人材・資源などを日ごろより把握する力、有機的につなげる力を公民館自身が高めていくことが必要である。			

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(5) 安心できる日野市・安全な社会を目ざした事業を展開する。		
事業の概要		経費	【謝礼】 32,000円
【目的】 安全で安心できる街づくりを意図した事業を展開することを目的とする。 【30年度に実施した講座・事業】 「ママがはじめる防災準備～家族を守るABC」「災害から身を守る！～明暗を分ける、避難を決断する時」などの3講座を実施した。 【内訳】 成人事業3		延べ参加人数	75人
事業の成果	上記の2つの防災講座のほかに行った「あなたの未来を創りましょう科」では、在宅療養のネットワーク化をテーマに、在宅療養支援課職員が講師となって、市内2会場で開催したが、一定の参加者を得る成果につながった。防災。防犯はもちろん、市民の安心・安全に関わるテーマは、自治会などにPRして出張公民館事業として行う意義は高いと思われるので、今後もテーマ、会場を検討して取り組みを進めたいところである。		
公民館運営審議会の意見	○東京都発行の「東京防災」などを教材とした講座をやったかどうか。 ○同一内容で市内複数の地域を会場に出張公民館としての実施を希望する。 ○防災に関する講座は小・中学生も巻き込み、大学との連携も推進すべきである。 ○自助・共助・互助のつながりをこうした講座の実施を通して進めてほしい。 ○関心のある人の参加だけでなく、関心のない人をいかに巻き込んでいくかが重要であり、町内会・自治会等の地縁組織との連携によって、地域防災を支える市民の学習を創出していく必要がある。		
事業の課題と改善策	地域の安全・安心は市民の関心が高い分野である。講座・事業の実施にあたっては、自治会、老人会などの地域団体や学校などとも連携することとあわせて、場合によって市内別会場・複数回開催なども検討していくことも検討すべきと考える。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(6) 日野市をふる里として生きていけるような、 地域の伝統と文化の理解を深める事業を展開する。		
事業の概要		経費	【謝礼】 61,000円
【目的】 自分の住んでいるまちを「ふる里」と呼べるようなまちづくりをめざした事業を展開することを目的とする。 【30年度に実施した講座・事業】 「小島善太郎記念館でミニコンサート♪&洋画家小島善太郎の魅力を尋ねて」「100年前のガラス乾板写真から見る豊田の歴史」などの3講座を実施した。 【内訳】 成人事業2、ひの市民大学1		延べ参加人数	105人
事業の成果	日野市を「ふる里」と意識してもらうには？という視点を持って、3つの講座を関係課と連携して開催した。日野の昭和期における発達過程を振り返ったり、ガラス看板写真から見える風景から日野の歴史を考える講座を企画したことで、新たな参加者層の掘り起こしにもつながった。		
公民館運営審議会の意見	○教育委員会発行の「歩こう調べようふるさと七生」を講座に取り入れたらどうか。 ○関係課と協力し、『日野市を「ふる里」と意識してもらうには？』という視点を持って講座を開催した流れは継続を。 ○若者にも関心を持ってもらえるよう、例えば日野の知られざる歴史を考える講座などをやってみては。 ○地区センター等を使って、地域の伝統・文化を調査・作成することで、地域住民のつながりに結びつく講座などはどうか。 ○他機関とともに地域資源を掘り起こす講座を実施することで、他機関主催の単独事業ではなく、公民館と連携することによって得られている成果を大切に事業の意義や効果を高めていただきたい。		
事業の課題と改善策	「歩こう調べようふるさと七生」を教材に関係各課で協働して講座を行う件についてはその後実現に至っているが、今後も地域の人材を講師に、地域の歴史や文化にふれながら、再発見するといった取り組みを次の世代にも経験してもらうことは必要であり、他課、他団体との連携により実施していくことが大切だと思われる。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(7) 市民が日野市に新しい文化を育むような事業を展開する。		
事業の概要		経費	【謝礼ほか】 1,446,000円
【目的】 地域に生きる市民の文化を、自ら発信できるような意識・気運を醸成することを目的とする。 【30年度に実施した講座・事業】 「レインボープロジェクト・ビニール傘アートでアートフェスティバルへ出展しよう」のほか、「村山七段と多面差し」(公民館まつり前夜祭)など5つのバラエティサロン、「公民館まつり」「ひのアートフェスティバル」「分室まつり」の3つのイベントを実施した。 【内訳】成人事業1、高齢者事業2、バラエティサロン5、イベント3		延べ参加人数	10,493人
事業の成果	さまざまなジャンルの音楽や芸術・文化に触れたり、落語や語りを含む多彩なステージを楽しんでいただけのバラエティサロンを実施した。 また、イベントでは公民館まつり・ひのアートフェスティバル・分室まつりを開催し、アートフェスティバルへの出展を目指して作品を作る講座も実施した。また、昨年に続いて音楽サークルの合同演奏会「秋フェス」を開催した。 * イベント来場者 公民館まつり3,000人、ひのアートフェスティバル6,200人、分室まつり600人		
公民館運営審議会の意見	○「新春フェス」(仮称)を新設し、年4回程度、四季ごとにイベントを開催し、サークルの活性化につなげたらどうか。 ○公民館では気楽に楽しめる芸術まつりの方向でさらなる事業を実施して欲しい。 ○持続可能なまちづくりには新しい文化が必要不可欠である。 ○公民館にとどまらず、いろんな場所に出張開催をしてほしい。 ○回を重ねる中でプログラムに変化が見られ、「秋フェス」などでは、サークル間の交流を意識した内容に深化していることが高く評価される。		
事業の課題と改善策	「公民館まつり」「アートフェスティバル」などは回を重ね、地域の催しとしても定着してきているが、中心となる人材に新しい顔ぶれや、若い世代を求める声もある。これは現在の公民館活動全般について言えることでもあるが、今後の交流やつながりのあり方を視野に入れ、新たな仕組みを考えることも必要な時期かと思われる。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(8) 憲法や平和・民主主義を地域にいかせるような 事業の展開を図る。		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 250,000円
【目的】 地域や暮らしと結びついた憲法学習・平和学習を展開し、その学びが地域や日常生活に生きるような事業を展開することを目的とする。 【30年度に実施した講座・事業】 「若者たちで考えるまちづくり Vol.2」「わたしたちの暮らしと憲法」など2つの講座、委託事業として「平和事業」を実施した。 【内訳】 成人事業2、委託事業1		延べ参加人数	278人
事業の成果	「若者たちで考えるまちづくり Vol.2」は、若い世代の生き方、暮らし方をともに考える講座として、関係各課とも連携し、昨年に続いて開催した。ここ数年の連続開催となっている憲法講座の「わたしたちの暮らしと憲法」では、生活者の視点から憲法を考えるという内容とした。 例年、実行委員会による委託事業として行っている平和事業は、今年度も諸団体の協力によって、音楽や映画などを盛り込んだプログラムで実施し、昨年を上回る参加者があった。		
公民館運営審議会の意見	○平和事業は昨年を上回る参加者がありよかったと思うが、学校連携もさらに広げていってほしい。 ○憲法や平和・民主主義は、市民の日常生活の基本であるから、今後もこのような事業の展開を。 ○平和事業や憲法学習は公民館の原点ともいえる学びの機会を提供している。世代継承という観点から、若者へのアプローチが必要であるが、どのように呼びかけていくかを検討することが求められる。 ○こうした事業が若い世代に広まるよう、努力をしていってほしい。 ○市民ニーズを掘り起こし、育てあっていく創意工夫をしつつ、継続こそ力なり！で貫いていきたい。		
事業の課題と改善策	まちづくりや平和、憲法については若い世代も含め、諸団体とも連携して講座・事業を組むように心掛けてきたが、世代に応じたニーズの掘り起こしなども含めて、新たな参加者層にもアピールする内容づくりは今後も検討を進めていくべきと考える。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(9) 地域社会を活性化させる担い手となる リーダーの育成を推進するような事業を展開する。		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 221,000円
【目的】 地域の活性化やサークル活動の担い手となるリーダー育成を推進することを目的とする。		延べ参加人数	295人
【30年度に実施した講座・事業】 「話し合おう！考えよう！これからの公民館をⅡ～今公民館だからできることって？」「話し合おう！考えよう！これからの公民館をⅢ～描こう！公民館をもっと楽しむつながり方を」など5つの講座・事業を実施した。			
【内訳】成人事業3、ひの市民大学1			
事業の成果			
前年度に第1回を開催した「話し合おう！考えよう！これからの公民館を」は第二、第三弾を実施。公民館運営審議会で「公民館の交流のかたち」について審議している状況下で、利用者の生きた意見をいただける機会になったのと同時に、帝京大学・丹間ゼミとも連携する場にもなった。			
公民館運営審議会の意見			
○「話し合おう！考えよう！これからの公民館を」シリーズは価値ある事業展開と高く評価したい。継続して開催してほしい。 ○現在の内容では参加者自身のスキルを高めることにはなっても、リーダー育成につながるかには疑問がある。 ○帝京大学・丹間ゼミなど若者の参加を促して開催している点を評価する。 ○公民館や社会教育について学ぶ講座が実施され、市民と職員がフラットに会話することができている点は評価できる。そうした場のなかから、次世代を担う公民館のキーパーソンが育つことに期待したい。 ○今後もさらに大学連携などの協力で事業の推進を。			
事業の課題と改善策			
二回実施した「話し合おう！考えよう！これからの公民館を」は公民館について利用者と対等に考える貴重な場として定着しつつある。参加者のスキルを高めることが即リーダー養成につながらないのではとの指摘もあるが、新たな利用者層、若い世代がこうした場に参加する機会を増やすことが、まずはじめの一歩だと考える。			

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(10) 地域や日野市民の生活に根ざした 諸問題を取り上げた事業を展開する。		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 127,000円
【目的】 地域や日常生活から課題を取り上げて、ともに考えたり、話し合ったりすることで、学びを共有し新たな指標をみつける機会とする。		延べ参加人数	159人
【30年度に実施した講座・事業】 「現代社会の生きづらさを考える～発達障害を理解する」「家族のカタチはこれから？」など、生き方を考える生活課題の講座を中心に4講座を実施。地域課題解決においては、実践女子大学・須賀ゼミとも連携し、たとえば「アートかるた」を通じて地域に学びを届け、世代間交流を図るとりくみなど、今年度は新たな取り組みに一步を踏み出したといえる。			
【内訳】成人事業4			
事業の成果			
生活課題を取り上げる講座は一般的に定員に対する申し込み人数は必ずしも十分でない傾向があるが、参加者の反応はおおむね好評で、引き続いての開催を望む声もある。また、必ずしも当事者ばかりでなく、家族や周辺の方々の「何とかしたい」「理解したい」という思いに届いている場合もあるようだ。 また、「地域課題」については今年度始めた取り組みを次年度につなぎ、さらに地域を広げて取り組んでいく流れを作っていきたい。			
公民館運営審議会の意見			
○地域の諸問題をとりあげた講座ということがわかるよう、サブテーマを工夫するなどしたらよいのではないかと。 ○「アートかるた」はユニークな取り組みで良かったと思うが、その後のフォローはできているか。 ○新たな取り組みをここでとどまることなくさらなる展開ができるよう、様々な工夫をしてほしい。 ○大学生や中学生・高校生など若い世代のもっている「学びを拓く力、耕し深める力」を引き出しつつ、他機関や各自治会の支援・協力も促していけるとよい。 ○身近な社会問題を取り上げていることは評価できる。中高年のひきこもり・ニート問題、親の子どもへのいじめ等も、重要な課題である。このような課題の解決に向かって支援することが、公民館の重要な役割の一つではないかと思う。			
事業の課題と改善策			
地域課題、生活課題をテーマに対し公民館ができるアプローチとして、講座・事業の企画・運営は基本ではあるが、内容によっては参加者数が定員に満たないものもある。さまざまな課題に対し、自由に話し合える場の確保は公民館の大切な役割だが、そうした場の情報を必要とする人にきちんと届けることも考えていく必要がある。			

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	重点事業(1) 地域に根付いた学習活動の充実 ・地域偏在の解消と地域の特色を活かした公民館事業の検討
事業の概要	学びモデル事業として、アウトリーチによる市内他施設（交流センター等）に会場設定をした事業展開を図る。また、地域の資源を生かした課題やテーマを求めた講座・事業に取り組む。
事業の成果	・「学びモデル事業」は、地域包括支援センターすてっぷ及び実践女子大学の協力を得、二中地区での出張講座を開催 内容：①レッツ！アンチエイジング！「葉膳美容茶ワークショップ」カワセミハウス3/29参加者数15人②「アートかるた大会」(多世代交流のかるた大会。若い世代からお年寄りへのエールを読み札とした) 若宮神社1/24・30参加者数30人 ・学び「生活課題」をテーマにした講座の件数は昨年よりも増えたといえるが、「地域課題」にテーマを求めた講座や、地域の特色を前面に出した取り組みという点では、今後に課題を残したともいえる。一方、会場を中央公民館(中央福祉センター含む)、高幡台分室以外を含んで開催する事業が、全体の講座件数の約4割を超えており、地域偏在の解消には努めた。 ・地域資源を生かしながら、地域をステージとした学びを展開するための試みを行い、令和元年度の地域展開に向けての方向性を、館内で共有できた。また、公民館の外に会場を求めたことにより、それまで公民館を利用したことのない市民へのアプローチにもつながった。
公民館運営審議会の意見	○「地域偏在の解消」には地域団体等の要望に応える形で、地域の施設や地区センター等を利用した出張講座をぜひ実施してほしい。 ○公民館以外の場所へのお出張講座は今後ますます必要になってくる。 ○市全体に目配りし、他部署との連携も図りつつ、地域個性・独自性が最大限活かせるように、引き続き努力を期待したい。 ○市民の日常生活に即した地域固有のつながりに関する課題を取り上げたワークショップ、アクティブ・ラーニング方式の投入の検討を。 ○二中地区での出張講座をモデルとして、館内に留まらず積極的に地域に繰り出していく事業の展開・拡大が期待される。
事業の課題と改善策	地区センター等を活用した出張公民館事業やアウトリーチ事業を通して、地域偏在の解消に配慮していきたい。また、他部署と連携を図り、地域の資源・特色に着目し、地域ニーズをとらえた講座の企画・運営をすすめる。あわせて未利用者にとっても参加したいと思える、魅力ある講座・事業の内容、運営につとめていく。

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	重点事業(2) 子ども、若者を対象とした事業の拡充 ・学びや体験の機会の提供 ・大学連携による学びの場の創造
事業の概要	子どもや若者がもっと公民館に集まるきっかけとなるような講座・事業を積極的に進める。 あわせて近隣の大学、ゼミ、ボランティアセンターなどと連携し、新たな事業展開を図る。
事業の成果	・子ども、若者を対象にした事業では、囲碁・将棋サロンを年間を通して実施のほか、「若者たちで考えるまちづくり」など、若い世代の学ぶ機会の拡充を図った。 ・帝京大学・丹間ゼミとは、利用者を対象に行った「あなたにとって公民館とは」のアンケート調査からインタビューを個別に行い「ようこそ 地域のリビングへ～公民館へのあなたの一歩～」を成果集として編集された。今後、活用することで、よりよい公民館運営を目指していく。 ・実践女子大学・須賀ゼミによる「アートかるた」を用いた高齢者との交流事業では、学生と利用者をつなぐ機会を創出できた。
公民館運営審議会の意見	○帝京大学・丹間ゼミ等との連携により、公民館事業にも新しい発想が成果として出てきていると思う。今後もより密接な連携により、公民館の発展を願う。 ○大学との連携において公民館や利用者・職員がウェルカムな雰囲気であることから、今後さらなる交流が期待される。 ○大学との連携を軸にさまざまな世代間の交流が発展することに期待する。 ○小学校、中学校への出張公民館の検討を。 ○幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校との協働可能性をもっと丁寧に粘り強く探りたい。
事業の課題と改善策	帝京大学・丹間ゼミや実践女子大学・須賀ゼミとの大学連携等を通して、若い世代が公民館に関わる機会が確実に拡充しているが、一歩進んで他の利用者とのつながりに発展するまでには、公民館としても意識的な仕掛けを考えていく必要があるだろう。あわせて小・中学生対象の事業にも、引き続き積極的に取り組んでいきたい。

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	重点事業(3) 談話室を活かした情報発信のしくみづくり ・新しいことが生まれるみんなの居場所 ・「人と人を結ぶもうひとつの学び舎」をコンセプトに、高幡台分室の環境整備
事業の概要	「新しいことが生まれるみんなの居場所」と位置づけた中央公民館・談話室を、ふらっといつでも立ち寄れる場所、そこにいけば何かが見つかる場所・・になるよう、具体的な仕掛けや設備を進める。
事業の成果	・談話室を活かした情報発信としては「ゆる・カフェ・時間」などを定期的を開催し、児童館やボランティアセンターなどの職員との連絡会である「ご近所会議」を軸にして、具体的な取り組みが定着しつつある。 ・ゆるカフェ時間 談話室にて 9回開催 延べ485人 ・「人と人を結ぶもうひとつの学び舎」をコンセプトに、高幡台小プログラム（卒業生とのコラボ 思い出探し）、三世代交流事業によるクリスマス会の実施など、分室ならではの事業展開。
公民館運営審議会の意見	○中央公民館談話室を自由な情報発信の場としている点は評価するが、実際は利用者が限定されていないだろうか。もっと広く利用される工夫があるとよい。 ○中央公民館談話室に設置されたミニミニキッチンを活かす工夫をしてほしい。 ○『高幡台小プログラム』など高幡台分室にこれからの若い人をどう呼び込むかを考えることが必要。 ○高幡台分室については、例えば近隣の小・中学生の美術作品を廊下にギャラリー風に飾ると、華やかな明るい分室になるのではないかな。 ○中央公民館では談話室の環境整備を通して市民が公民館に入りやすくなり、「集い」の機能は飛躍的に向上した。さらに、「結び」の機能でもサークル活動や講座の後にふらっと談話室に立ち寄る利用者がみられるほか、「ゆる・カフェ・時間」を通して利用者間・サークル間の新たなつながりも生まれている。
事業の課題と改善策	中央公民館談話室は「ゆる・カフェ・時間」などの取り組みによって、「自由に過ごせる」という点においては認知度が高まってきたが、「情報発信」という点ではまだ不十分である。今後、情報発信、意見交流の場としての機能を高めるには条件整備も必要である。また、高幡台分室では「ばそこんくらぶIN高幡台分室」のような事業は実施しているものの談話室スペースがない分、施設全体の雰囲気づくりや廊下の活用等を積極的に検討していく必要があると考える。

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	重点事業(4) 第2次公民館基本構想・基本計画策定に向けて
事業の概要	第2次公民館基本構想・基本計画の策定に向けての、準備を図る。
事業の成果	・ 公民館基本構想基本計画の策定開始を令和元年度からとし、策定に向け現行計画の検証組織としての推進会議のメンバーに新たなメンバーを加えて（12人）、計画策定に向けての意見交換を行った。 ・ H31. 9～ 5回推進会議開催
公民館運営審議会の意見	○職員のノウハウを生かし、市民から愛される持続可能な公民館のために、職員が中心になって作成することは評価したい。 ○基本構想・基本計画は努力すれば実施可能なものとし、平易な文言である事が望ましい。 ○計画策定へのプロセスが着実に進められている。 ○三つの視点「学ぶ」（☆いつでもどこでもだれでも学べる環境整備 ☆学びに関する様々な情報提供・相談機能の充実）「つながる」（☆顔が見えるネットワーづくり ☆教えあう交流する仕組み・居場所づくり）「行動する」（☆自己実現・社会還元の家や情報提供 ☆心とからだの健康づくり）を活かせる公民館活動の具体的な展開を探究することが肝心。 ○「市民の日常生活に即する学び・つながり」のキーワードは外せないと思う。今後、ますます市民による自助・互助・共助 が必須となると思われるので、この対応策を含めて公民館が講座・事業を通して 推進すべきである。
事業の課題と改善策	第二次基本構想・基本計画の策定にあたっては、第一次基本構想・基本計画のもとでのこれまでの公民館の蓄積や、職員のノウハウを生かした内容にすること、市民が手にとって読んでみたいものにすること、三つの視点（「学ぶ」「つながる」「行動する」）を活かした内容にすること等を満たしていることが求められる。一方、新たに選出された策定委員と職員との間で、すでに複数回にわたる協議やワークショップ等を実施しており、市民と職員の手による新しい基本構想・基本計画のイメージができつつある。

公民館事業のあらまし

(「平成30年度社会教育のあらまし」からの抜粋)

公民館主催事業

公民館主催事業（講座・教室など）を事業分類ごとに紹介。

① 成人事業

ア. バラエティサロン

地域の中で気軽に“質の高い文化”に親しめる場として位置付け、音楽の演奏会等を開催する。

回	開催日	内 容	出 演	会 場	参加人数
284	12月22日	バラエティサロン 「箏と尺八による絲竹の若き響き」	中山 大梧 奥田 愛山	キッチン& カフェカナン	43
285	1月12日	バラエティサロン「新春初笑い寄席」	林家 彦丸師匠	中央公民館	60
286	2月24日	バラエティサロン「グラスハープの世界へようこそ！」	エリクオ（大橋 エリ 後藤 郁夫）	中央公民館	57
287	3月16日	3月バラエティサロン 「稲村なおこスプリングファミリーコンサート」	稲村 なおこ	市民の森ふれあいホール	90
288	3月29日	バラエティサロン「親子で聴く音楽会～ピアノとソプラノとサクソの調べ」	くつきいず音楽 院 齊藤 弥生 ほか	日野市勤労・青年会館	38

イ. 映画会

名画と呼ばれる作品を取り上げて上映し、その時代背景、製作過程、監督、俳優などについて考察する。

上映会場は中央公民館で4回、福祉支援センター（高幡）2回、カワセミハウス1回。

回	開催日	作 品	監 督	出 演	参加人数
286	4月27日 (中央公民館)	ドンマイ	神山 征二郎	桃井かおり ほか	45
287	6月30日 (中央公民館)	幸せのちから	ガブリエレ・ムッチーノ	ウイル・スミス ほか	49
288	8月25日 (中央公民館)	マリンエクスプレス	虫プロ	清水マリ ほか	16
289	10月23日 (カワセミハウス)	シネマinカワセミハウス「われら家族」	一般教育映画	不明	50
290	10月27日 (福祉支援センター)	どら平太	市川 崑	役所広司 ほか	38
291	12月8日 (中央公民館)	アフリカの女王	ジョン・ヒューストン	ハンフリー・ボガード、キャサリン・ヘップバーン	37
292	2月23日 (福祉支援センター)	古都	市川 崑	山口百恵 ほか	47

ウ. ばそこんくらぶIN高幡台分室

開催日	4月6日～3月15日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全20回
内容他	原則として毎月第1・第3金曜日の午前に開催。みんなで楽しくパソコンを学べて交流できる場、居場所として定着しつつある。
講 師	松村 良
参加延べ人数	144人

エ. NHK特別展「至上の印象派 ビュールレ・コレクション」関連文化講演会

開催日	4月7日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全1回
内容他	NHK特別展「至上の印象派 ビュールレ・コレクション」関連文化講演会
講 師	山田 由香子
参加延べ人数	92人

オ. NHK特別展「人体－神秘への挑戦－」関連文化講演会

開催日	5月12日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全1回
内容他	NHK特別展「人体－神秘への挑戦－」関連文化講演会
講 師	山田 格
参加 延べ人数	80人

カ. 土曜の朝はパン作り

開催日	6月23日・7月28日・9月22日・10月27日・11月24日・12月22日
会 場	中央公民館
開催回数	全6回
内容他	パンづくりの基本と応用を学ぶ。発酵時間にサブメニューづくり コーヒー タイムを作り仲間の交流を深める。
講 師	白川 育子
参加 延べ人数	101人

キ. 体が軽くなる♪腰痛・肩こり解消ストレッチ

開催日	7月14日・7月21日
会 場	日野市陸上競技場
開催回数	全2回
内容他	腰痛や肩こりで悩んでいる人が、プロのトレーナーから痛みを起 こさない体づくりやストレッチによるほぐし方を学んだ。
講 師	打越 耕司
参加 延べ人数	45人

ク. 国際理解講座「美しい全ての自然を持つチリ共和国」

開催日	7月15日
会 場	中央公民館ほか
開催回数	全1回
内容他	チリからの留学生を招いてチリの文化や歴史、日本からの移民の 話、日本とのつながりなどを学んだ。
講 師	バレンティナ・アルディレス・クロイス
参加 延べ人数	44人

ケ． 勇気づけと信頼で子育てをもっと楽しく♪
 ～アドラー心理学で幸せな子育て・自分育て～

開催日	8月2日、9月13日、27日、10月11日
会 場	中央公民館
開催回数	全4回
内容他	子育て中の親が、アドラー心理学をベースとした「勇気づけ子育て」を学ぶことにより、自身をもって楽しんで子育てが出来るようになることを目的とした。
講 師	成瀬 夕子
参加 延べ人数	80人

コ． メンタルハーブ講座～美味しく楽しく健やかに～

開催日	9月6日～9月27日
会 場	中央公民館
開催回数	全4回
内容他	ハーブの効能により心身を健康に保つことを学び、あわせて石鹸作りや調理実習などを通して、生活に生かす方法を習得した。
講 師	森川 京子
参加 延べ人数	98人

サ． 「楽しい陶芸入門コース」～趣味をとおして仲間づくり・いきがづくり！

開催日	9月8日～11月17日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全10回
内容他	陶芸の奥深さを知り、生涯楽しむことの出来る趣味としての手ほどき。余暇活動を通して人生の目標づくりや人とのコミュニケーションにより生活を楽しむ。
講 師	田原 形子
参加 延べ人数	132人

シ． 災害から身を守る！～明暗を分ける、避難を決断する時

開催日	10月5日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	異常気象・激甚災害の状態化を見据えて、異常気象のメカニズムや予測方法、防災対策を気象予報の見地で解説。担当課として防災啓発
講 師	㈱ウエザー・ニュース 山崎直人、防災安全課職員
参加 延べ人数	34人

ス．季節を楽しむ和の伝統行事～つるし雛編

開催日	10月11日～2月14日
会 場	中央公民館
開催回数	全5回
内容他	日本の伝統的な吊るし雛のモチーフ5種の作り方を学んだ。
講 師	大竹 裕子
参加 延べ人数	116人

セ．ファイト！グラウンドゴルフ入門

開催日	10月26日・11月2日・11月9日
会 場	中央公民館高幡台分室 運動場
開催回数	全3回
内容他	グラウンドゴルフの基礎を学び・基本練習・チームを作り試合形式の練習・簡易表彰式
講 師	日野市グラウンド・ゴルフ協会
参加 延べ人数	36人

ソ．あなたの未来を創りましょう科 住み慣れた日野で自分の人生を続けよう

開催日	10月26日・10月27日
会 場	中央福祉センター・福祉支援センター
開催回数	全2回
内容他	今年度、新たに組織された在宅療養支援課の業務内容について紹介した。生涯学習課業務の「みらい塾」を活用する事を目的に今後も、行政内容の周知啓蒙や、市民の知識・技能を活用して行きたい。2025年・2040年問題などの課題を踏まえ、市民の健康維持や、万が一病気、療養などが必要になった時の対応を周知した。
講 師	在宅療養支援課職員
参加 延べ人数	16人

タ．思春期の子どもたちとつきあう方法

開催日	10月27日・11月4日・12月9日・1月19日
会 場	中央公民館
開催回数	全4回
内容他	思春期の子供たちの特性学び、どう関わった良いか考える講座。同じような年齢の子を持つ親が集まり、仲間の話を聞きながら我が家だけではないことを学び、自分なりの子育てを見出す機会とする。

講 師	寺田 正美、平田 康代
参加 延べ人数	32人

チ．英語でおもてなし

開催日	10月8日～11月30日 毎週金曜日
会 場	中央公民館
開催回数	全8回
内容他	英語をすっかり忘れていまさら聞けない人を対象に実用英会話を学ぶ講座。海外経験の多い講師から文化や感覚の違い、また日本の良さも学や観光についても知ることができる。
講 師	磯崎 一郎、リンネ・ウィリング、加納 敏、矢口 克己
参加 延べ人数	234人

ツ．家族のカタチはこれから？

開催日	11月4日・11月11日・11月18日
会 場	中央公民館ほか
開催回数	全3回
内容他	家族の役割やカタチが多様化している現在、さまざまな家族像や生き方を選択している人たちを招き、ともにそれぞれの生き方を考える。
講 師	阿部 珠恵、加納 土、赤川 学
参加 延べ人数	48人

テ．月に一度は郷土鍋。2

開催日	11月17日～3月23日
会 場	中央公民館
開催回数	全5回
内容他	月に一度、全国各地の郷土鍋を調理し、会食することで、参加者相互の交流も深め合う機会とする。昨年に続いての開催。
講 師	鈴木 翔子
参加 延べ人数	80人

ト．中央公民館世代間交流プロジェクト～

高幡台分室でちょっと早めのクリスマスを体験しよう

開催日	12月8日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全1回

内容他	帝京大学・田崎ゼミ、市民講師とのコラボによる事業。クリスマスの季節にあわせて、音楽と会食を中心とする世代間交流事業として実施した。
講 師	樋口 周子 ほか
参加 延べ人数	36人

ナ．LGBT入門講座～誰もが自分らしく生きられる社会とは

開催日	11月25日～12月2日
会 場	多摩平の森ふれあい館
開催回数	全2回
内容他	LGBTについての基本的理解を深める機会とする。また、今回は当事者とその家族や周辺の人たちの関わり方についてもテーマに取り上げた。
講 師	虹色とんち一、小野 春
参加 延べ人数	18人

ニ．親子で大豆から豆腐を作ろう

開催日	12月9日・1月20日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全2回
内容他	親子で市内産の大豆の脱穀、豆腐作りを体験することで、自然と人間との共生について考え、また食に対する意識を高める機会とした。
講 師	濱田 豊、八子 廣、小田 仁志
参加 延べ人数	8組（34人）

ヌ．100年前のガラス乾板写真から見る豊田の歴史

開催日	12月22日
会 場	中央公民館高幡台分室・郷土資料館
開催回数	全1回
内容他	郷土資料館パネル展「ガラス乾板からよみがえる100年前の豊田」会期中に、山口家の歴史、その時代の豊田の人々の生活、風景の記録写真をとおして、豊田の歴史を知る講座を開催した。
講 師	矢口 祥有里
参加 延べ人数	21人

ネ．女性の貧困を考える～見えづらいその実態～

開催日	2月9日
-----	------

会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	格差社会の中で、クローズアップされることが多くなった女性の貧困について考える。
講 師	飯島 裕子
参加 延べ人数	22人

ノ．国際理解講座～ブルガリア編～

「東西文明が交わるエキゾチックな魅力を持つブルガリア共和国」

開催日	2月10日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	ブルガリアからの留学生を招いてブルガリアの歴史についてや、日本文化との接点、ブルガリアの特産品などを学んだ
講 師	アントニオ・アンゲロフ・アナトリエフ
参加 延べ人数	55人

ハ． よりよく生きるーマインドフルネス入門

開催日	2月9日・23日
会 場	2月9日市民の森ふれあいホール、23日平山交流センター
開催回数	全2回
内容他	現代はストレス社会と言われるほど、人々は常に何かを考え、脳が疲労している。マインドフルネスを学ぶことで、心と体を整え、「いまここ」にある本来の自分を取り戻していく。同じ内容を場所を変えて2回行った。
講 師	長谷川 洋介
参加 延べ人数	102人

ヒ． おひなさまのお話～桃の節句を楽しもう～

開催日	2月23日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	お雛様の歴史、桃の節句の由来などを学んだ。
講 師	林 直輝
参加 延べ人数	50人

フ． 小島善太郎記念館でミニコンサート＆小島善太郎の魅力を訪ねて

開催日	2月27日
-----	-------

会 場	日野市立小島善太郎記念館
開催回数	全1回
内容他	故小島善太郎画伯が晩年を過ごした百草の地の小島善太郎記念館をもっと知ってもらうべく、小島善太郎画伯について学ぶとともに同記念館でミニコンサートを実施し、地域の貴重な文化芸術を継承する機会をつくる。
講 師	林 猛、大森 奈々
参加 延べ人数	24人

へ．障害者理解講座「手話を学ぼう」

開催日	2月14日・18日
会 場	日野第一中学校
開催回数	全2回
内容他	ともに生きる社会をめざし、市民に障害者への理解を深める目的で実施。日野第一中学校と連携し、将来社会を支える若い世代を対象とし、誰もが住みやすい社会の在り方について理解を深めてもらった。
講 師	堀場 照美、ひの手話サークル
参加 延べ人数	47人

ホ．わたしたちの暮らしと憲法

開催日	3月2日・3月9日
会 場	中央福祉センター
開催回数	全2回
内容他	憲法の歴史や概要を学ぶとともに、あらためて憲法の持つ意味と意義、その役割を日常の生活と結びつけて学んだ。
講 師	中村 安菜 青井 未帆
参加 延べ人数	54人

マ．ママがはじめる防災準備～家族をまもるABC

開催日	3月10日
会 場	中央福祉センター
開催回数	全1回
内容他	近年、各種の災害が報告されているが、災害発生後の主役はいつも女性であるという見地から、女性防災NPOを講師に女性だから分かるきめ細かい防災活動のテクニックを伝授してもらう。
講 師	NPO法人 ママプラグ ファシリテーター児玉陽子
参加 延べ人数	25人

ミ. おんがくでおでかけ～きいて、さわって、えんそうしてみよう～

開催日	3月20日
会 場	多摩平交流センター
開催回数	全1回
内容他	障害のあるお子さんをもつ家庭を対象に、音楽であそぶ術を学ぶ。家庭やグループで楽しむためのヒントを得てもらった。
講 師	井上 恵理、国立音楽大学リトミックサークル
参加 延べ人数	21人

ム. 見たい！聴きたい！歌いたい♪東京・札幌・長野オリンピックから時代を振り返る

開催日	3月27日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全1回
内容他	2020東京オリンピック/パラリンピック開催をまじかに控え、『東京』『札幌』『長野』オリンピックを、その時代の歌と共に振り返り当時の社会情勢や何があったのかを振り返った。また、当時流行した歌を参加者が大きな声でアコーディオンとピアノの伴奏で歌いました。
講 師	鈴木 久美子、中原 まこと ひろせ めぐみ、井上 真由美、清水 みなみ
参加 延べ人数	34人

メ. 今日からキミもひのエコだ！

開催日	3月26日・3月27日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	「ひのエコ」関連講座。公民館イベントに於いて、マイ箸・マイ食器持参を促進している過程において、実際に工作、裁縫をして持参してもらう事を目的とした。製作物は、木工（箸・皿・コップ）裁縫（エコバック）で、多くの協力者・サークル・関係機関等の協力を頂いた。
講 師	高橋 康行ほか
参加 延べ人数	32人

モ. 子どもと楽しむ大人のあそび！～モーターの仕組み～ドローン飛行体験

開催日	3月30日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全1回

内容他	モーターが回る仕組みを学び、動力が社会のどのような場面で活躍している学んだ。ドローンの模擬飛行を体験することにより、テクノロジーの楽しさ、素晴らしさを体感した。
講 師	中村 利之ほか
参加 延べ人数	14人

ヤ．現代社会の生きづらさを考える～発達障害を理解する～

開催日	3月31日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	生きづらさ」という言葉は、広く社会に定着し、引きこもりを含めた社会問題となっている。原因の一つである発達障害について解説し、支援方法などを学ぶことを目的とした。
講 師	滝口 仁、伊藤 克之
参加 延べ人数	27人

ユ．話し合おう！考えよう！これからの公民館をⅡ

「今、公民館だからできることって？」

開催日	6月23日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	公民館がどのような役割を持って生まれ、どのような歴史を重ね、今につながっているのかを考え、これからの公民館の可能性や新たな役割について、他市のちょっといいとりくみなどにも学びつつ、考えあう。
講 師	丹間 康仁
参加 延べ人数	28人

ヨ．話し合おう！考えよう！これからの公民館をⅢ

「描こう！公民館をもっと楽しむつながり方を」

開催日	3月16日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	公民館がどのような役割を持って生まれ、どのような歴史を重ね、今につながっているのかを考え、これからの公民館の可能性や新たな役割について、利用者のライフヒストリーなども参考にしつつ、考えあう。
講 師	丹間 康仁

参加 延べ人数	23人
------------	-----

ワ、若者たちで考える“まちづくり” Vol 2

開催日	11月4日、18日、12月15日
会 場	市民の森ふれあいホール、P l a n t、市役所会議室
開催回数	全3回
内容他	2035年のあなたはどんな姿になっているでしょう！？ どんな仕事について、どんな暮らしをしているでしょう！？ 若者を対象とした事業の拡充を目的とし、若者を対象とし将来の 生き方・ 働き方・暮らし方を仲間とともに考えることで、自分たちの住む 街をより良くする「まちづくり」の未来を考えました
講 師	NPO法人 Youth Create 代表 原田 謙介、浜田 未貴
参加 延べ人数	23人

② 成人委託事業

ア、外国人のための日本語教室＜委託事業＞

地域の中で外国人が生活していくために、必要な日本語を学ぶ場として始まった事業。
市内に住む外国人同士や外国人と日本人の交流を通して相互理解を深め、異文化共生を
実践する場となっている。

ア) 委託先 日野国際友好クラブ

イ) 委託料 400,000円

ウ) 委託期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

エ) クラス 日本語能力レベルが同程度の学習者ごとに編成。一人の教師が1～3人
の学習者を受け持つ。

コース		水曜日(午前)	水曜日(夜間)	金曜日(夜間)
時間		午前10時～正午	午後7時～9時	午後7時～9時
会場		中央公民館 中央福祉センター	七生福祉センター 公民館高幡台分室	中央公民館 中央福祉センター
回数		全39回	全39回	全36回
参加 延べ 人数	学習者	410	419	964
	ボランティア	454	461	614

全114回 1,793人(学習者) 1,529人(ボランティア)

※水曜日午前コースに保育あり。

オ) 教材

「みんなの日本語 初級Ⅰ、Ⅱ」、補助教材として絵カードや聴解CD、市販のテキスト、
新聞など

カ) 課外授業・行事

開催日	内 容	会 場	参加人数
6月23日	ビール工場見学	サントリー府中工場	30

10月13日	防災・災害体験	立川防災館	18
12月16日	イヤーエンドパーティ	中央福祉センター	107
3月10日	修了式・日本語スピーチ大会	中央公民館	60

延べ参加人数 215人

※イヤーエンドパーティではお互いの国の文化等を披露しあい、修了式では日本語スピーチ大会を行い、楽しみながら交流を深めている。

イ．田んぼの学校＜委託事業＞

農体験、その他の活動を通じて、自然に親しみ、そこで暮らす生物との繋がり、得られた大地の恵みを享受しながら、生きる・学ぶ・触れ合う・育てる力を学ぶとともに、環境問題も含め、自然と人との共存、人と人との関わり・繋がり場としている。

ア) 委託先 田んぼの学校運営委員会 代表 斉藤 守

イ) 委託料 224,000円

ウ) 委託期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

エ) 内容ほか

会場	新町会場・中央公民館
内容他	種まきから刈り取りまで、季節を通して水田にかかわり、米作りの楽しさと自然の厳しさを学ぶ。12月1日の収穫祭には、もち米を使って餅をつき、食べ、収穫の喜びを分かち合った。
講師	福島 久夫、和田 菊代
参加 延べ人数	新町会場 294人 全11回

ウ．公民館平和事業＜委託事業＞

日野市では8月を平和月間として、事業を展開した。公民館では、映画、公演をとおして、平和の大切さを考える場とした。

ア) 委託先 公民館平和事業実行委員会 代表 村上 敏雄

イ) 委託料 150,000円

ウ) 委託期間 平成30年7月1日～平成30年12月31日

エ) 内容ほか

会場	多摩平交流センター
日時	8月4日（土）
内容他	第1部 映画「わたしはマララ」 第2部 平和公演「8月に何があった ～次の世代に伝える戦争と平和」

講師・出演	星槎国際高等学校、村上 敏雄、茂呂薫子、内藤和美、朗読サークルのんど会、朗読サークル「うづき」、せせらぎ会、混声合唱団コーロ ファミリーア、チューリップツリー、ドレミの会、フライデーコーラス、ヴォーチェ・フローラ、ゆりのき、蓼沼 佑一、矢崎 香穂里、ライアムーサ・日野、晴れときどきの物語、THE MOONDOGSほか
来場者数	201人

③ 高齢者事業

ア. 程久保うたごえパーク

開催日	4月7日～3月9日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全10回
内容他	皆で集い楽器の伴奏に合わせて大きな声で歌うことで、家にこもりがちな方がストレス解消・リフレッシュをするとともに、仲間づくり・生きがいくりの場を提供した。
講師	樋口 周子ほか
参加 延べ人数	209人

イ. 朗読サロン

開催日	5月20日～1月13日
会 場	中央公民館、高幡台分室、多摩平交流センター、イオンホール
開催回数	全7回
内容他	公民館で活動をしている朗読サークルへ“発表の場を提供することと同時に、小さな文字を読むのが段々と敬遠しがちな高齢者を対象に、名作を朗読で楽しんでもらい、参加者同士の交流を図ることができた。
講師	朗読の会「うづき」、「日野にじの会」、「のんど会」
参加 延べ人数	239人

ウ. リメイクで作る和の小物～お香やポプリを入れてたのしむ～

開催日	7月5日・7月19日
会 場	平山交流センター
開催回数	全2回
内容他	小物づくりを通して楽しく学び、交流の素晴らしさを感じる事業とした。
講師	高橋 ゆり
参加 延べ人数	18人

エ. はじめてのスマートフォン（アンドロイド編）

開催日	7月17日・24日
会 場	中央公民館高幡台分室

開催回数	全2回
内容他	スマートフォン初心者のため、基本的な操作の仕方や、アプリケーションのインストール方法、Wi-fi接続の仕方やセキュリティ対策について学んだ。
講師	NPO法人シニアネットクラブ
参加 延べ人数	18人

オ. おいしい紅茶のいれ方入門

開催日	10月2日・9日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全2回
内容他	紅茶の歴史や種類、さまざまな飲み方などを学び、高幡台分室まつりで喫茶を出店した。
講師	奥野 紫穂
参加 延べ人数	25人

カ. シニアライフを豊かに生きる～聞いてなるほど！お墓の話

開催日	10月16日～10月30日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	お墓の文化としての側面、現代のお墓をめぐる諸事情について、講義をもとに参加者で話し合った。
講師	長江 曜子、河原 正子
参加 延べ人数	46人

キ. アイフォン入門

開催日	10月27日・11月10日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全2回
内容他	多機能なアイフォンであるが、操作は意外とシンプルであることを学ぶことを目的とした。
講師	石塚 完
参加 延べ人数	15人

ク. 初心者のためのパソコン講座～パソコン使って楽しもう

開催日	3月1日・3月8日・3月15日
会 場	豊田駅北交流センター
開催回数	全3回
内容他	パソコンの面白さや可能性を感じてもらうとともに、使う上でのルールやマナーも学び合う場とした。
講師	NPO法人シニアネットクラブ

参加 延べ人数	42人
------------	-----

ケ．リメイク講座PART2～ネクタイで小物作り

開催日	3月12日・3月19日・3月26日
会 場	旭が丘地区センター
開催回数	全3回
内容他	小物づくりを通して楽しく学び、交流の素晴らしさを感じる事業としての第二弾。
講師	高橋 ゆり
参加 延べ人数	51人

④ 青少年事業

ア．子ども「将棋サロン」

開催日	平成30年4月11日から平成31年3月27日（第2、第4水曜日）
会 場	日野市中央公民館
開催回数	全22回
内容他	当初、将棋サロンは初心者が主だったが、皆それぞれ腕を上げ将棋会館に赴き「級」を取得するものまででてきた。また、途中からそれぞれのレベルに合わせクラスを強弱の2つに分け、戦績を発表し競争意識を持たせることを実施した。
講 師	小俣 光義
参加 延べ人数	207人

イ．子ども「囲碁サロン」

開催日	平成30年4月4日～3月20日（毎第1・3水曜日）
会 場	日野市中央公民館
開催回数	全22回
内容他	小学生～高校生の囲碁・囲碁初心者を対象に、子どもたちが、気軽に集まれる場を提供し、囲碁の面白さを伝えた。
講 師	近久 厳雄
参加 延べ人数	48人

ウ．夏休み小学生集まれ！わくわく学習術

開催日	8月1日・8月2日
会 場	国立天文台三鷹、JAXA調布航空宇宙センター 中央公民館、第一中学校校庭
開催回数	全2日

内容・講師	学校の授業とは異なった視点・方法で、楽しみながら出来る学習を実施し、さまざまなプログラムを展開した。 (1日目) ・国立天文台(三鷹市)で三次元映像による太陽系惑星と火星調査を見学/国立天文台解説員 ・JAXA宇宙航空研究開発機構で航空・宇宙技術の見学/ JAXA職員 (2日目) ・自分で作るおひるごはん/旗野 三佳 ・ペットボトルロケットを飛ばそう/日野自動車親和会
参加 延べ人数	64人

エ. アートランタンをつくろう～アートフェスティバルに出展します～

開催日	8月3日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	主に小学生を対象として、アートフェスティバルに開催に伴い、ものづくり体験の一環で実施。自作のアートを会場に展示する事で、みんなのフェスティバルであることを実感してもらった。
講師	高橋 勉、中村 由紀子
参加 延べ人数	27人

オ. 夏休みが終わっちゃうよ！ペットボトルソーラーカーを作ろう

開催日	8月3日
会 場	カワセミハウス
開催回数	全1回
内容他	夏休みの研究課題などに活かせるものづくり講座。異なる学年の子どもが、一緒に工作をしたことで、交流を図った。
講師	電機連合有志のみなさん
参加 延べ人数	31人

カ. 第一回村山慈明杯争奪将棋大会

開催日	9月9日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	日野市出身のプロ棋士「村山慈明」の冠つけた大会を実施しました。将棋連盟との交渉やルールや運営について打ち合わせ、賞状やトロフィーをどうするのかなど決めなくてはならないことが多くあり困難でした。ただ、初めて市が主催する将棋大会ということで出場したいとの参加者が多く集まり、期待を持たれていることが分かった。
講師	棋士 村山慈明七段
参加 延べ人数	23人

キ. 冬休み書初め講座

開催日	12月26日・12月27日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	書初めをバランスよく、上手に書けるように学ぶ講座。
講師	柴田 雪香
参加 延べ人数	47人

ク. 电脑探検隊 小学生チーム集合せよ！

開催日	3月26日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	2020年に学校カリキュラムとなる「プログラミング」を市民に教えていただくことで、市民の地域社会貢献・多世代地域交流による学校教育の支援を実現するために講座。
講師	諸星 修
参加 延べ人数	8人

ケ. 今よりもっときれいになろう ～プロに聞く美学講座～

開催日	3月15日・22日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	男子女子問わず、ビューティ講座&使えるワークショップを実践しながら、トークを交え自分の「美」を探る。また、J a p a n e s eビューティを見直すことで、新たな価値観を学ぶ。
講師	モデル M I Z U K I （中村 美月）
参加 延べ人数	22人

コ. 親子で楽しむ和の行事【親子でつくる桜もち編】

開催日	3月22日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	親子でお花見の由来などの話を聞き、桜もちを作りました。
講師	枝川 寿子
参加 延べ人数	22人

サ. 春休み小学生集まれ！わくわく学習術

開催日	3月27日・3月28日
会 場	中央公民館高幡台分室

開催回数	全2日
内容・講師	学校の授業とは異なった視点・方法で、楽しみながら出来る学習を実施し、さまざまなプログラムを展開した。 (1日目) ・春を感じるランチを味わおう/篠野 三佳 ・クリップ・モーターを作ろう/関東電気保安協会 (2日目) ・ボッチャ&ユニホックに挑戦/日野市スポーツ推進委員 ・デザインの力を使って、新しい文具を発想しよう/萩原 修
参加 延べ人数	46人

⑤ 青少年委託事業

(1) 第12回 ひのっ子シェフコンテスト

ア 事業の目的

子どもが食えることや食材の大切さを感じることで、食への関心を高め心身共に健康な子どもを育てることを目的とする。また、これに伴い多くの市民にも食の大切さを伝える。

イ 事業の概要

子どもによる料理コンテストを実施し、金賞、銀賞、銅賞、努力賞、特別賞を決定した。

【対象】市内の小学校に通う小学4年生から6年生の個人若しくはグループ

【料理の条件】日野産野菜を活用(旬の食材)したメニューを、90分以内で4人分を調理する。(予算1,000円以内)

【審査方法】ア) 地場野菜(日野産)の使用度

イ) オリジナリティ(アイデアや工夫)

ウ) 味

エ) 見た目

オ) 手際の良さ

【審査員】・審査委員長 鈴木 章生(服部栄養専門学校教授)

・ひのっ子シェフコンテスト実行委員会委員長

白尾 美佳(実践女子大学教授)

・日野市長 大坪 冬彦

・日野市教育員会教育長 米田 裕治

・子ども審査員(書類審査で落選した児童から選出3人)

【運営】ひのっ子シェフコンテスト実行委員会に委託(事業の企画・運営)して行う。

ウ 事業の成果

本選実施日 11月21日(日)

会場 = 日野第一中学校

応募数 = 52チーム (96人)

本選出場数 = 6チーム (9人)

周知方法 = 7月に案内を市内小学校へ配布

コンテスト結果

【金賞】 日野野菜の宝箱パイ！

【銀賞】 元気もりもりミート揚げパン

【銅賞】 日野野菜ポンチ

【努力賞・特別賞】 ひのっ子ベジ活ライス

【努力賞】

・あれ？ピーマンの味がしない鮭とにんじんと

ピーマンのマヨネーズ焼き

・日野産アレンジ焼きコロッケ

エ 平成30年度の取り組み

ア) 調理中の様子を生中継し、会場に入ることのできない保護者などが別室で見ることができるようにした。

イ) 「栄養士と調理員が選んだ特別賞メニュー」を設けて、平成29年度中に市内各小・中学校で給食メニューとして取り入れた。栄養士や給食調理員（学校課）の協力により、公民館と学校との連携事業として充実を図った。

ウ) 給食調理員による給食パネル展を行った。

エ) 調理時間中、健康課栄養士から参加の児童や保護者等に向けて「野菜350」（野菜を1日350g食べよう）についてPRを行い、食育についての意識を高めた。

⑥ ひの市民大学

講座の企画・運営の検討から市民とともに行う「ひの市民大学」は、「いつでも どこでもだれもが学べる場」をキャッチフレーズに市民手作りによる大学として実施している。

ア 開講式・記念講演 「今どきの日本語」

開催日	4月21日
会場	実践女子大学 香雪記念館
開催回数	全1回
内容他	① 学長（市長）あいさつ ② ひの市民大学 平成30年度プレゼンテーション ③ 記念講演
講師	金田一 秀穂（杏林大学外国語学部教授）
参加 延べ人数	244人

イ 地図でたどる東京・多摩の地名

開催日	4月26日・5月10日・6月21日
会場	中央公民館
開催回数	全3回

内容他	① 地名命名の原理 ② 市長村と地名 ③ 変貌する現代地名
講師	今尾 恵介（地図研究家）
参加 延べ人数	151人

ウ ウクレレ演奏 歌とともに楽しみましょう

開催日	6月13日・6月27日・7月11日
会 場	中央公民館
開催回数	全3回
内容他	計5曲を演奏し歌唱出来るまでになった。
講師	滝瀬 栄子（リノ企画代表） 大村 剛士（ウクレレ奏者）
参加 延べ人数	43人

エ 司馬遼太郎の旅と著作を考える

開催日	6月22日・6月29日・7月6日・7月13日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全4回
内容他	① 司馬遼太郎という人 ② 竜馬と土方歳三にみる恋愛 ③ 司馬さんと死生観 ④ 西郷隆盛と明治
講師	村井 重俊（週刊朝日編集部）
参加 延べ人数	294人

オ 作ってみようマイカップ&小鉢

開催日	6月28日・7月5日・7月26日・8月2日
会 場	中央公民館
開催回数	全4回
内容他	① 作陶 ② カップ作成（手ロクロ）、加飾、白化粧 ③ 釉薬掛け ④ 窯出し、講評
講師	高木 彩子（現代工芸美術家協会本会員）
参加 延べ人数	77人

カ マイクロプラスチックによる海洋汚染について

開催日	9月8日
会 場	多摩平の森ふれあい館
開催回数	全1回
内容他	世界的に注目（問題）されているマイクロプラスチックゴミについて

講師	高田 秀重（東京農工大学教授）
参加 延べ人数	55人

キ 印象派絵画の魅力

開催日	9月5日・9月12日・9月19日・9月26日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全4回
内容他	① マネ～印象派の先駆～ ② モネが発見した日本 ③ ルノワール～生命の輝き・青春の息吹～ ④ ピサロ～大地の魂を聴く～
講師	斉藤 陽一（元NHK制作プロデューサー）
参加 延べ人数	247人

ク 本づくりで考えたこと

開催日	10月3日、10月10日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	① 本ができるまで。 校正の仕事。 ② 新書「大往生」の発案。
講師	坂巻 克巳（前法政大学非常勤講師）
参加 延べ人数	16人

ケ 小森陽一先生と読み解く漱石・賢治

開催日	11月17日・12月15日・1月19日・2月16日
会 場	中央公民館 中央福祉センター
開催回数	全4回
内容他	① 夏目漱石「坊ちゃん」 ② 夏目漱石「草枕」 ③ 宮澤賢治「狼森と笹森、盗森」 ④ 宮澤賢治「注文の多い料理店」
講師	小森 陽一（東京大学大学院教授）
参加 延べ人数	198人

コ 廃道を楽しむ

開催日	11月16日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	地図から消えた「廃道」各地の廃道のストーリーを資料から紐解く机上のタイムトラベルを楽しむ。
講師	石井 あつこ（廃道研究家）
参加 延べ人数	53人

サ ビートルズが残したもの

開催日	2月24日・3月3日・3月17日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全3回
内容他	彼らの歩み。音楽的考察。文化的、社会的影響を音楽と共に学ぶ。
講師	鈴木 佳行（フリーライター）
参加 延べ人数	295人

シ 新時代を前にして～今こそ振り返りたい日野の昭和の発展過程

開催日	3月15日・3月22日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	日野地域における工場誘致による工業都市や、京王線沿線における行楽地としての栄枯盛衰（行楽地から宅地化へ）を学んだ。
講師	高橋 秀之（市学芸員）
参加 延べ人数	60人

ス 黒豆で作るプレミアム味噌作り

開催日	3月18日・3月25日
会 場	食堂こもれば （平山城址公園駅北側）
開催回数	全2回
内容他	味噌作り体験 （各1回講座）
講師	桂 宗範（食堂こもれば 店主）
参加 延べ人数	21人

セ あなたの知らない多摩動物公園

開催日	5月25日・8月25日・10月5日・1月15日
会 場	多摩動物公園
開催回数	全4回
内容他	① 動物園の子どもたち ② 夜の動物園 ③ 動物たちの餌とウンチ ④ 動物園の昆虫物語
講師	山崎 彩夏（多摩動物公園 解説員）
参加 延べ人数	79人

(2) ひの市民大学連携コース（委託事業） 連携：実践女子大学

前期 万葉集入門

開催日	6月2日・6月9日・6月30日・7月7日・7月21日
会 場	実践女子大学 香雪記念館
開催回数	全5回
内容他	万葉集（額田王、柿本人麻呂、山上憶良、大友家持）を学ぶ

講師	池田 三枝子（実践女子大学教授）
参加 延べ人数	245人

後期 源氏物語入門

開催日	12月1日・12月8日・12月15日・12月22日・1月5日
会 場	実践女子大学 香雪記念館
開催回数	全5回
内容他	源氏物語の全体像を学ぶ。
講師	影山 輝國（実践女子大学教授）
参加 延べ人数	252人

⑦居場所づくり 「ゆる・カフェ・時間（談話室活用事業）」

開催日	4月18日～2月26日
会 場	中央公民館
開催回数	全9回
参加 延べ人数	485人

⑧公民館アウトリーチ事業

ア) 実践女子大学連携事業

事業名	1) 見立てて似顔絵 2) アートかるた 3) 新多世代交流ツール 4) 二中地区まち歩き
開催日	1) 8月30日 2) 9月26日、29日 3) 1月24日、30日 4) 12月2日
会 場	1) 2) 中央公民館 3) 若宮神社参集殿 4) 日野二中地区
内容他	1) 日用品を見立ててアート作品を創るアートワークショップ 2) 多世代交流ツール「アートかるた」を実践するワークショップ 3) 高齢者から若者へのエールを読み札にしていく「かるた作り」ワークショップ 4) 大学生と中学生の多世代交流を行いながらのまち歩き講座
講師	実践女子大学現代生活学科 須賀ゼミ生 他
参加 延べ人数	62人

イ) 二中地区モデル事業

「レッツ！アンチエイジング 薬膳美容茶ワークショップ」

開催日	3月29日
会 場	カワセミハウス
開催回数	全1回
内容他	これからの新しい公民館像を模索するために、二中地区をモデル地区とした公民館事業アウトリーチ事業を実施する。 地域の住民の詳しい地域包括支援センターすてっぷと協働し、広く一般市民が興味を持つ「アンチエイジング」をテーマとした「薬膳美容茶のワークショップ講座を開催。
講師	佐藤 朋子 (Cha★Cha★La主宰)
参加 延べ人数	15人

⑨ 障害者事業

ア. 少年学級 <委託事業>

市内の特別支援教育を受けている生徒を対象に、月一回の定例会を開き、ボランティアと一緒に遊び、学んでいる。また年7回第1土曜日には、リトミック教室を開催している。運営は、「日野市少年学級親の会」が行っている。

ボランティアは、中央大学のボランティアサークルを中心に、大学生と社会人が参加している。

ア) 委託先	日野市少年学級親の会 会長 清川 宏美
イ) 委託料	1,503,360円
ウ) 運 営	日野市少年学級親の会 会 長 清川 宏美 副会長 釜谷 美雪 麻野 綾 会 計 小幡 さやか 齋藤 さおり 書 記 吉泉 彩織 会計監査 小島 喜美代

エ) リトミック教室活動内容

開催日	6月2日～2月2日 午前10時～正午
会 場	中央公民館
開催回数	全7回
講師	山崎 詩奈子
参加 延べ人数	延べ124人

オ) 定例会活動内容

月 日	内 容	会 場	参加 人数
4月15日	こあらんど	中央公民館高幡台分室	75
4月24日	総会	中央公民館高幡台分室	19
5月13日	開級式	中央公民館高幡台分室	131
6月10日	みんなの遊・友ランド	市民の森ふれあいホール	119
7月3日	合宿説明会	中央公民館高幡台分室	15
7月3日	親睦会	中央公民館高幡台分室	18
8月24日～ 25日	合宿	大成荘（山梨県）ほか	78
9月9日	ボウリング大会	立川スターレーン	93
10月14日	運動会	中央公民館高幡台分室	100
11月11日	サッカー教室	中央公民館高幡台分室	98
12月9日	クリスマス会	中央公民館高幡台分室	126
1月22日	リトミック懇談会	中央公民館	14
2月10日	豆腐作り例会（雪により中止）	中央公民館高幡台分室	—
3月26日	バスハイク	上野動物公園ほか	77

14回 963人

イ. 青年・成人学級 <委託事業>

青年・成人学級は「健康な青年と触れ合う場所が欲しい」という障害を持った青年達の願いを実現するために、昭和50年に「日野市障害者青年学級」として誕生した。スローガンとして「ともに生き、ともに学ぶ」を掲げ、地域に根ざした活動を続け、現在に至る。

この学級の特色は、16歳以上の障害を持つ青年も持たない青年も一緒になって、自分達の学級の企画・運営を行っている点にある。現在さまざまな障害を持った青年達と学生や社会人など多彩な青年達が、定例会と分科会に参加し活動している。

平成5年度から地域で生活する成人期の障害者を対象に、衣食住働などを学習する分科会「生活を考える」が始まり、平成9年度には成人講座として交流中心の青年学級とは別に活動するようになる。対象は25歳以上の希望者で、地域での生活についてさまざまな問題を学習する場を提供し、生き生きと暮らす力を学ぶことを意識してプログラムを組んでいる。平成12年度より、成人講座から成人学級へ変更し、平成28年度から団体名も新しく「日野市青年・成人学級」となり、積極的な活動を続けている。

ア) 委託先 日野市障害者青年・成人学級仲間の会 代表 木村 美子

イ) 委託料 2,613,000円

ウ) 運 営 青年・成人学級運営委員会役員

青年学級担当 運営委員長 山本 詩織

会計 小田 俊介

成人学級担当 熊谷 亜由美

各学級の各定例会の前に運営委員会を開き、企画・準備を行った。

エ) 青年学級定例会活動内容

開催日	内 容	会 場	参加 人数
5月27日	開級式	中央公民館	49
6月24日	料理・シャボン玉アート	中央公民館	53
7月22日	合宿説明会	中央公民館	55
8月 4日 ～5日	夏合宿	八ヶ岳高原大成荘	81
9月9日	スポーツ教室・公民館音フェス	日野第中学校	48
10月21日	ハロウィーンパーティー	中央公民館	52
11月18日	遠足	西武園遊園地	73
12月16日	クリスマス会	中央公民館	62
1月20日	新春お楽しみ会	市民会館小ホール	65
2月17日	遠足	マザー牧場	64
3月17日	修了式	中央公民館	42

11回 644人

オ) 成人学級活動内容

開催日	内 容	会 場	参加 人数
5月27日	開級式	中央公民館	12
6月17日	高幡不動あじさいまつり	高幡不動尊	14
7月8日	カラオケ	まねきねこ	12
8月5日	調理実習	中央公民館	9
9月2日	ボウリング	SAP日野	14
10月14日	社会見学	井の頭自然文化園	13
11月10日 ～11日	合宿	大成荘	14
12月16日	クリスマス会	中央公民館	12
1月20日	新春おたのしみ会	市民会館 小ホール	7
2月3日	新年会	サカエヤ茶楼	12
3月18日	修了式	中央公民館	12

11回 131人

カ) 分科会活動内容

A. ワープロ

開催日	4月～3月 第2・4金曜日 午後7時～8時30分
会 場	中央公民館
開催回数	全21回

講師	栗原 亜希子 ほか
参加 延べ人数	64人

B. 料理

開催日	6月～3月 第2土曜日 午前10時～午後0時30分
会 場	中央公民館
開催回数	全7回（6月・7月・10月・11月・12月・1月・3月）
講師	鈴木 直美
参加 延べ人数	112人

C. リズム体操

開催日	6月～3月 第4日曜日 午後1時30分～2時30分
会 場	中央公民館、市民の森ふれあいホール
開催回数	全6回（6月・8月・9月・10月・1月・2月）
講師	前田 致加子
参加 延べ人数	87人

D. コーラス

開催日	6月～3月 第4土曜日 午後1時30分～2時30分
会 場	中央公民館
開催回数	全6回（6月・9月・10月・11月・1月・2月）
講師	樋口 周子
参加 延べ人数	52人

4 公民館利用状況

（１） 中央公民館

① 目的別利用数（年間）

公民館事業または 中央公民館使用分		市民グループ （文化関係）		市民グループ （体育関係）		市役所関係		その他		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
1,443	16,541	2,598	23,421	69	745	30	233	11	311	4,151	41,251

※ 陶芸窯利用 40回 登録団体 6 サークル

② 目的別利用数（月別）

月	公民館事業または 中央公民館使用分		市民グループ （文化関係）		市民グループ （体育関係）		市役所関係		その他		合 計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	75	611	245	2,317	8	140	2	40	2	120	332	3,228
5	218	4,401	180	1,605	1	6	0	0	0	0	399	6,012
6	112	930	242	2,322	4	22	0	0	3	31	361	3,305
7	106	1,019	203	1,891	8	75	0	0	0	0	317	2,985
8	129	383	161	1,296	5	42	0	0	0	0	295	1,721

9	108	1,023	223	1,991	3	30	0	0	0	0	334	3,044
10	143	1,505	249	2,273	6	59	0	0	0	0	398	3,837
11	145	1,577	214	1,841	2	12	27	163	0	0	388	3,593
12	108	1,687	209	1,758	3	20	0	0	6	160	326	3,625
1	95	979	214	1,891	7	98	0	0	0	0	316	2,968
2	96	1,223	240	2,226	13	158	1	30	0	0	350	3,637
3	108	1,203	218	2,010	9	83	0	0	0	0	335	3,296
計	1,443	16,541	2,598	23,421	69	745	30	233	11	311	4,151	41,251

③ 部屋別利用率（月別）

月	区分	講座室 A	講座室B	視聴覚室	調理実習室	小会議室	実習室	ホール	保育室
4	午前	70.8	70.8	79.2	62.5	45.8	87.5	75.0	58.3
	午後	83.3	83.3	79.2	41.7	66.7	87.5	83.3	33.3
	夜間	37.5	37.5	25.0	8.3	29.2	75.0	50.0	12.5
5	午前	75.0	79.2	100.0	79.2	87.5	83.3	79.2	79.2
	午後	83.3	95.8	79.2	62.5	75.0	95.8	79.2	37.5
	夜間	37.5	33.3	50.0	45.8	54.2	79.2	62.5	29.2
6	午前	69.2	69.2	80.8	61.5	50.0	84.6	84.6	65.4
	午後	69.2	73.1	76.9	38.5	42.3	88.5	80.8	19.2
	夜間	42.3	34.6	46.2	7.7	38.5	73.1	61.5	30.8
7	午前	50.0	53.8	84.6	46.2	53.8	84.6	73.1	57.7
	午後	80.8	80.8	57.7	26.9	42.3	84.6	69.2	26.9
	夜間	34.6	26.9	26.9	3.8	15.4	69.2	53.8	15.4
8	午前	53.8	42.3	57.7	65.4	46.2	73.1	65.4	46.2
	午後	61.5	61.5	46.2	50.0	38.5	80.8	73.1	19.2
	夜間	19.2	19.2	34.6	30.8	11.5	80.8	42.3	15.4
9	午前	44.0	60.0	68.0	56.0	64.0	100.0	80.0	60.0
	午後	88.0	80.0	76.0	36.0	52.0	92.0	64.0	28.0
	夜間	40.0	40.0	40.0	8.0	20.0	72.0	56.0	12.0
10	午前	73.1	69.2	84.6	61.5	76.9	92.3	73.1	57.7
	午後	84.6	84.6	69.2	57.7	65.4	100.0	80.8	42.3
	夜間	50.0	46.2	42.3	23.1	30.8	76.9	61.5	26.9
11	午前	66.7	66.7	100.0	62.5	75.0	91.7	75.0	62.5
	午後	91.7	91.7	87.5	50.0	64.2	91.7	79.2	45.8
	夜間	62.5	58.3	66.7	20.8	50.0	70.8	75.0	20.8
12	午前	82.6	69.6	82.6	87.0	56.5	87.0	60.9	56.5
	午後	82.6	78.3	78.3	65.2	43.5	69.6	78.3	34.8
	夜間	47.8	39.1	56.5	13.0	13.0	69.6	56.5	8.7
1	午前	62.5	66.7	87.5	62.5	54.2	79.2	87.5	54.2
	午後	87.5	87.5	75.0	37.5	58.3	75.0	62.5	20.8
	夜間	33.3	29.2	25.0	12.5	25.0	62.5	50.0	20.8
2	午前	70.8	70.8	87.5	58.3	45.8	83.3	79.2	54.2
	午後	87.5	91.7	91.7	50.0	75.0	91.7	75.0	33.3
	夜間	45.8	29.2	54.2	8.3	20.8	70.8	66.7	16.7
3	午前	73.1	69.2	73.1	57.7	42.3	84.6	80.8	46.2
	午後	73.1	76.9	84.6	50.0	34.6	84.6	80.8	34.6
	夜間	30.8	19.2	34.6	7.7	7.7	57.7	73.1	11.5

月	区分	講座室 A	講座室B	視聴覚室	調理実習室	小会議室	実習室	ホール	保育室
年間 計	午前	65.8	65.4	81.9	63.1	58.1	85.9	76.2	58.1
	午後	80.9	81.9	74.8	47.0	53.7	86.9	75.5	31.2
	夜間	39.9	34.2	41.6	15.8	26.2	71.5	59.1	18.5

(使用日数／開館日数＝%)

(2) 中央公民館高幡台分室

① 目的別利用数 (年間)

公民館事業または中央公 民館高幡台分室使用分		市民グループ (文化関係)		市民グループ (体育関係)		市役所関係		その他		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
302	3,415	2,099	18,868	281	2,522	237	2,543	77	1,129	2,996	28,477

※陶芸窯利用 28回 登録団体 6サークル

② 目的別利用数 (月別)

月	公民館事業また は中央公民館高 幡台分室使用分		市民グループ (文化関係)		市民グルー プ (体育関係)		市役所関係		その他		合 計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回 数	人数	回数	人数
4	37	733	161	1,481	21	148	12	94	17	342	248	2,798
5	15	330	183	1,526	20	136	13	154	5	50	236	2,196
6	9	75	171	1,592	24	201	15	119	6	86	225	2,073
7	11	122	170	1,632	22	169	23	368	6	82	232	2,373
8	4	19	162	1,428	16	125	31	262	1	7	214	1,841
9	19	250	176	1,507	25	179	15	96	4	54	239	2,086
10	92	500	175	1,595	28	205	16	124	5	69	316	2,493
11	21	333	186	1,720	15	93	32	336	7	126	261	2,608
12	35	435	163	1,442	26	375	13	157	5	55	242	2,464
1	11	118	178	1,619	24	256	18	331	7	71	238	2,395
2	12	92	192	1,639	29	281	30	328	7	94	270	2,434
3	36	408	182	1,687	31	354	19	174	7	93	275	2,716
計	302	3,415	2,099	18,868	281	2,522	237	2,543	77	1,129	2,996	28,477

① 部屋別利用率 (月別)

月	区分	実習室	和室	講座室1	講座室2	講座室3	講座室4	講座室5	講座室6
4	午前	38.5	76.9	73.1	57.7	50.0	61.5	73.1	50.0
	午後	34.6	38.5	73.1	65.4	30.8	46.2	69.2	38.5
	夜間	3.8	19.2	30.8	0.0	7.7	15.4	0.0	0.0
5	午前	33.3	83.3	75.0	79.2	50.0	58.3	87.5	45.8
	午後	29.2	41.7	66.7	83.3	45.8	33.3	79.2	33.3
	夜間	0.0	25.0	12.5	0.0	8.3	8.3	0.0	4.2

6	午前	34.6	84.6	80.8	61.5	26.9	53.8	65.4	30.8
	午後	30.8	26.9	76.9	46.2	53.8	53.8	65.4	26.9
	夜間	0.0	19.2	15.4	0.0	3.8	7.7	0.0	0.0
7	午前	46.2	84.6	69.2	50.0	38.5	42.3	80.8	42.3
	午後	38.5	42.3	57.7	57.7	57.7	50.0	73.1	23.1
	夜間	3.8	23.1	15.4	0.0	3.8	0.0	0.0	3.8
8	午前	25.9	63.0	70.4	44.4	25.9	55.6	77.8	29.6
	午後	7.4	48.1	74.1	44.4	25.9	44.4	70.4	18.5
	夜間	0.0	40.7	7.4	0.0	3.7	11.1	3.7	0.0
9	午前	36.0	80.0	76.0	44.0	48.0	56.0	76.0	40.0
	午後	28.0	40.0	76.0	60.0	48.0	60.0	80.0	28.0
	夜間	0.0	28.0	16.0	0.0	16.0	8.0	4.0	8.0
10	午前	57.7	88.5	80.8	61.5	65.4	65.4	73.1	57.7
	午後	53.8	46.2	80.8	65.4	65.4	57.7	84.6	46.2
	夜間	11.5	19.2	38.5	11.5	38.5	19.2	11.5	15.4
11	午前	50.0	62.5	75.0	62.5	75.0	62.5	75.0	58.3
	午後	37.5	41.7	79.2	66.7	75.0	45.8	79.2	70.8
	夜間	0.0	16.7	20.8	0.0	25.0	4.2	0.0	4.2
12	午前	50.0	79.2	70.8	66.7	54.2	58.3	79.2	41.7
	午後	41.7	41.7	79.2	58.3	45.8	58.3	75.0	33.3
	夜間	8.3	12.5	29.2	4.2	20.8	29.2	8.3	8.3
1	午前	54.2	70.8	62.5	54.2	54.2	66.7	83.3	25.0
	午後	37.5	50.0	66.7	58.3	54.2	50.0	75.0	29.2
	夜間	8.3	33.3	20.8	0.0	16.7	8.3	8.3	4.2
2	午前	37.5	79.2	70.8	62.5	66.7	66.7	79.2	50.0
	午後	33.3	75.0	66.7	70.8	66.7	62.5	79.2	50.0
	夜間	0.0	58.3	16.7	0.0	16.7	12.5	0.0	4.2
3	午前	38.5	69.2	80.8	57.7	61.5	73.1	73.1	53.8
	午後	34.6	69.2	76.9	61.5	50.0	57.7	80.8	42.3
	夜間	0.0	38.5	15.4	0.0	7.7	11.5	3.8	0.0
年間計	午前	41.7	76.8	73.8	58.3	51.0	59.9	76.8	43.7
	午後	33.8	46.7	72.8	61.3	51.3	51.7	75.8	36.4
	夜間	3.0	27.8	19.9	1.3	13.9	11.3	3.3	4.3

(使用日数／開館日数＝%)

5 第31回公民館まつり

今年度の公民館まつりは、「出会い ふれあい 学び合い」をテーマに、5月19日、20日の両日に催された。日ごろ中央公民館を中心に活動している各団体・サークルが、一年間の活動の成果を、作品の展示、音楽演奏、舞台、模擬店や体験コーナーを通して発表し、広く市民の皆さんに楽しんでいただくことができた。

会 場		5月19日（土）10：00～16：00	5月20日（日）10：00～15：00
中央公民館	実習室	喫茶コーナー	
	ホール	人形劇、二胡	朗読、マンドリン
	講座室	ギター、ウクレレ、女声コーラス、リコーダー、ウクレレ、男声コーラス	学生演奏、フルート、オカリナ、合同ハーモニカ、少年少女合唱団
	視聴覚室	切り絵作品展示（体験）、絵手紙ほか作品展示（体験）	
	小会議室	手打ちうどん実演販売	手打ちそば実演販売
	2階廊下	地域活動展示	

	集会室 1. 2	陶芸、木彫、手編み、活動展、写真など作品展示	
	福祉講座室	水墨画作品展示（体験）	
	集会室 3	ステンドグラス作品展示	
	健康 相談室	デジタル写真	
公民館前広場	開会式、日野囃子、剣術演武		インドネシア舞踊、軽音楽、日野囃子、
	本部、模擬店販売、バザー、おもちゃ修理受付、パン、日野産野菜、薔薇など販売		
児童館前広場	ひの児童館まつり		

■来場者3,000人 ■参加、応援・協力サークル 54団体

■主催 公民館まつり実行委員会

6 第14回中央公民館高幡台分室まつり

市内程久保地区に、平成16年4月に公民館事業を運営する恒常的な拠点として高幡台分室が開設された。多くのサークルが登録し、それぞれの学習を通して地域の振興に努めている。高幡台分室まつりは高幡台分室及び教育センター体育館を会場として、高幡台分室を中心に活動しているサークルが、一年間の活動の成果を、展示、舞台、模擬店や体験コーナーを通して発表し、広く市民の皆さんに楽しんでいただくことができた。今回より、日曜開催とした。

開催日	10月21日（日）
時 間	10：00～15：00
展 示	俳句作品、版画、ハワイアンキルト、陶芸、歴史資料、鉄道模型、書道
ステージ	まつり囃子、ギター、尺八、一輪車、朗読、弦楽合奏
体 験	ヨガ、香道、子ども工作
模擬店	カレーライス、そば、うどん、フランクフルト、クッキー、コーヒー、紅茶、野菜の販売、手芸作品など

■来場者600人 ■主催 公民館高幡台分室まつり実行委員会

7 第22回ひのアートフェスティバル

ひのアートフェスティバルは、市民が集う手作りの芸術祭で、平成9年度から「地域文化の振興」と「身近なところで芸術を享受しよう」という趣旨で開催されている。今回は22回目を迎え、8月18日・19日の両日に仲田の森蚕糸公園を舞台に開催した。ステージ部門では老若男女を問わず熱気あふれる演奏で盛りあがった。

フリーマーケットやクラフト出店などで賑い、模擬店では環境に優しいリユース食器を使った。

開催日	8月18日（土）	8月19日（日）
時 間	10:00～20:00	10:00～19:00
ステージ	日野 1 中吹奏楽部 いにしえーしょんず アッコちゃんズ パパっ子ひとり まったり～フッカー S E N A 川田智規 J A Z Z トリオ Ciel（From E-69） ムエレテ・コン・ミドリ ドワタコモ チョコチップマグナム リ・リンダ アンヌール あそぼっさ・あとうんあとうん アラ・アッソ・ココ	5 3 ' s R&R ざぶとんず ビートレンジャー S-Blood ザ. カズン マトリョミンアンサンブル「ウリープ°カ」 あお Praise in the Sun Gospel Choir Nostalgianne KAROL 高雄 文 タマ・ドリーム・ジャズ・オーケストラ
手作り 広場など	ワンニャン大行進、ミニチュアガーデン、センスにお絵かき、オシャレ花かんむり、まきまきアクセサリー、牛乳ウォッチ、アートラリー、森のお絵かき屋さん	
模擬店、フリーマーケット、クラフト出店		

■来場者6,200人 ■主催 ひのアートフェスティバル実行委員会

8 公民館音楽サークルの集い～秋フェス2

中央公民館で活動する音楽サークルには、日頃交流する場がなかったため、お互いに楽しみながら交流を深める場づくりとして初めて開催した。各音楽サークルが互いの演奏発表を鑑賞し合い、交流を深めることができた。

開催日	11月24日（土）
会場	中央公民館
講師・出演	各音楽サークル
参加人数	166人

9 パネル・ショーケース展示状況

中央公民館の談話室内にあるパネル・ショーケースは、公民館を利用する自主グループ等が日頃の活動成果の作品を展示し、発表する場となっている。また、公民館を訪れる方々に対し、広く社会教育活動への関心を与えている。

展示団体・内容

楽しいデジカメクラブ（写真）、ひの切り絵サークル（切り絵）、きつつき会（木彫り）、アクリエ会（アクリル画）、仲田小学校PTA（絵封筒）、手編みの会ひつじ（あみもの）、中央公民館（アートかるた・ハロウィーン・つるし雛）

10 公民館保育室

昭和60年度に開設し、専用保育室による保育は平成3年度から始まる。対象は市内在住の1歳6カ月から就学前までの幼児で、公民館主催事業の参加者または年間保育登録をしているグループに保育援助をしている。

親たちが学習・活動をしている間、子どもたちは専任保育者とともに保育室で2時間を過ごしている。天気のよい日には近くの公園にも出かけ、年齢の違う子どもたちとの遊びの中で、思いやりや協力の心も生まれている。親も子も学ぶ機会として「親・保育者・職員」のコミュニケーションを図っている。

（1） 公民館保育室の利用状況

保育援助認定グループ

団 体 名	利用回数	利用延人数
ママのポケット(手芸)	24	104
はだかんぼう（調理）	11	58
ゆるゆる手作りの会（手芸）	23	79
いるか（子育て学習）	7	22
ACT（子育て学習）	20	86
子どもへのまなざしママ会（子育て学習）	10	21
N P（子育て学習）	14	34
保育懇談会	1	9
外国人のための日本語教室（委託事業）	39	234
保育付き講座	6	28
計	155（回）	675（人）

※合同保育を含む 保育援助は事前申込制で、1歳6カ月から就学前まで

11 公民館だより

編集は市民委員の協力により行われている。公民館の活動や事業を紹介するとともに、地域への関心を高めていくことを目的としている。年4回発行。

A3サイズ2つ折り全4ページで、市内の主な公共施設等で配布している。

号 (発行日)	仕 様	主 な 内 容
第156号 (6. 20)	A3判二つ折り 4ページ単色刷り 2, 000～2, 500部	・サークルの仲間たち「手編みの会ひつじ」 ・日野の風景「日野パイロットファーム」 ・「第31回公民館まつり」を開催しました ・第22回アートフェスティバル「夏の森の夢」が開催されます ・公民館運営審議会より ほか
第157号 (9. 30)		・第22回ひのアートフェスティバル「真夏の森の夢」8. 18(土)～19(日)開催しました！ ・サークルの仲間たち「オカリナサークル蕾」 ・日野の風景「浅川アユまつりを見学して」 ・今年も平和事業が行われました ほか
第158号 (12. 20)		・サークルの仲間たち「日野オイスターズ」 ・「高幡台分室まつり」を開催しました ・「秋フェス♪2」を開催しました！ ・公民館運営委員会からの報告 ・第2次公民館基本構想・基本計画策定に向けて動き出します ほか
第159号 (3. 20) ※カラー版		・さあ「春」です！外に出かけませんか ・公民館と大学連携って何！？ ・サークルの仲間たち「日野アクリエ会」 ・コラム「ねこの足跡」 ・公民館基本計画推進会議、ただ今活動中！ ほか

《参考》平成29・30年度講座等参加人数

	平成30年度	平成29年度
成人事業	6,489	6,472
講座	2,102	1,873
バラエティサロン	288	234
公民館映画会	282	285
委託・公民館平和事業	201	125
委託・外国人のための日本語教室	3,322	3,185
委託・田んぼの学校	294	770
高齢者事業	640	708
講座	663	708
青少年事業	641	501
講座	545	464
委託・ひのっ子シェフコンテスト	96	37
市民大学	2,330	1,709
講座	1,833	1,174
委託	497	535
障害者事業	2,224	1,914
委託・少年学級	1,087	789
委託・障害者青年・成人学級	1,137	1,125
イベント	9,966	10,060
公民館まつり	3,000	3,000
分室まつり	600	450
ひのアートフェスティバル	6,200	5,900
秋フェス(サークル交流会)	166	250
居場所づくり	485	460
ゆる・カフェ・時間(談話室活用)	485	460
公民館アウトリーチ事業	77	
総計	22,875	21,364

○日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱

平成21年3月31日

制定

(目的)

第1条 この要綱は、社会教育法(昭和24年法律第207号)第32条に規定する、公民館の運営の状況に関する評価等の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 日野市中央公民館(以下「公民館」という。)は、毎年1回、公民館の運営状況について評価を行う。

(評価の方法)

第3条 公民館は、公民館運営審議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

(教育委員会への報告書の提出)

第4条 公民館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

(評価結果の公表)

第5条 公民館は、評価の結果を市民に公表する。

(評価結果の活用)

第6条 公民館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

(庶務)

第7条 評価に関する庶務は、公民館管理係において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、公民館長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

第 27 期公民館運営審議会委員名簿

委員長	宮崎 竹子	社会教育の関係者
副委員長	丹間 康仁	学識経験者
委員	畔上 栄輔	公募による市民
委員	宇賀神 宏	社会教育の関係者
委員	須崎 奈緒美	公募による市民
委員	松永 式子	学校教育の関係者（H31.4.1～）
委員	今尾 恵介	学識経験者
委員	南雲 成二	学識経験者
委員	樋口 周子	社会教育の関係者
委員	杉本 英二	家庭教育の向上に資する活動を行う者
任期	自 平成 30 年 7 月 1 日	
	至 令和 2 年 6 月 30 日	

令和元年度
日野市中央公民館の運営の状況に関する評価書
(平成 30 年度事業)

令和元年 9 月
日野市中央公民館

〒191-0011
東京都日野市日野本町七丁目 5 番地の 23
電話 042-581-7580 ファクス 042-581-2110